

大富団地(10号棟)解体工事 (R8)

令和 8 年度

竹富町まちづくり課

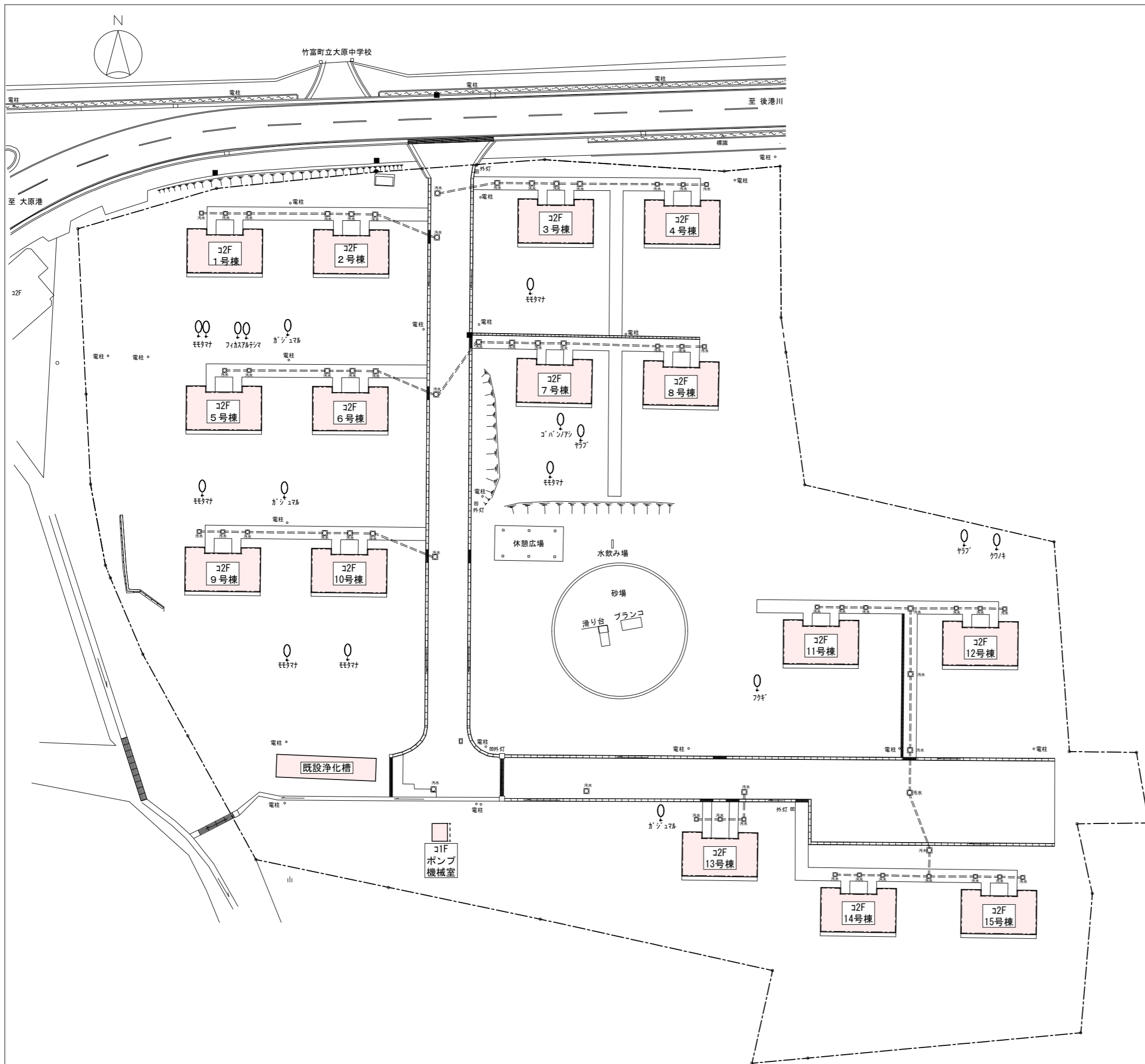
工事名称	大富団地解体工事(建築)			工事年度	令和 7 年度	
工事場所	竹富町字南風見仲地内			図面名称	表 紙	
発注機関	竹富町まちづくり課			縮 尺		
摘 要				図面番号	A - 000	
検 印	管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	榎朝吹設計事務所
					資格者氏名	代表者 朝吹 一郎
					登録番号	一級建築士 第114962号
					所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32

図 面 目 録

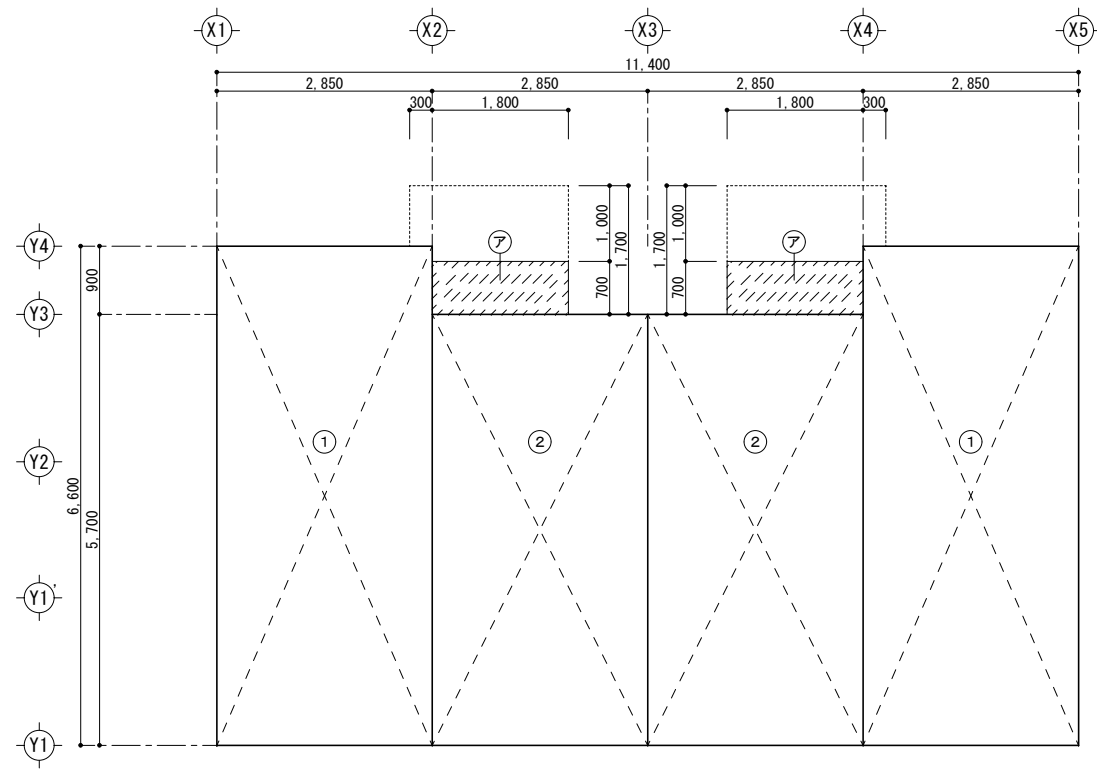
意 匠 図			構 造 図			設 備 図		
図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
A-001	図面目録	—	S-17	床伏図・部材リスト・配筋図	S=1:50	KE-1	撤去特記仕様書 (電気)	
A-002	特記仕様書(1)	—	S-18	軸組図1	S=1:50	KE-2	電気設備平面図	S=1:50
A-003	配置図	S=1:300	S-19	軸組図2	S=1:50			
A-004	仮設計画図	S=1:300	S-20	2階スラブ配筋図	S=1:30	KM-1	撤去機械特記仕様書	
A-005	求積図・面積図	S=1:50	S-21	R階スラブ配筋図	S=1:30	KM-2	給排水設備平面図	S=1:50
A-006	仕上表	—						
A-007	平面図	S=1:50						
A-008	立面図	S=1:50						
A-009	断面図	S=1:50						
A-010	展開図(1)	S=1:50						
A-011	展開図(2)	S=1:50						
A-012	建具図	S=1:50						
A-013	外壁詳細図(1)	S=1:300						
A-014	外壁詳細図(2)	—						
A-015	既設浄化槽図	S=1:50						
A-016	既設高木伐採リスト図	S=1:300						

工事名称	大富団地解体工事(建築)	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	図面目録
発注機関	竹富町まちづくり課	縮 尺	
摘 要		図面番号	A - 001
検 印	管理建築士	設 計	製 図
名 称	南朝吹設計事務所		
資格者氏名	代表者	朝吹 一郎	
登録番号	一級建築士 第114962号		
所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		

建築物解体工事特記仕様書		沖縄県土木建築部 令和7年10月改定版		章 項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																																										
<p>1 工事概要</p> <p>(1) 工事名 : 大富団地(10号棟)解体工事(R8)</p> <p>(2) 工事場所 : 竹富町字南風見仲地内 (地域地区等:指定なし)</p> <p>(3) 敷地面積 : m</p> <p>(4) 工種目 :</p> <p>ア 建築物</p> <table border="1"> <tr><td>建築物の名称</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>主要用途</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>構造及び階数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>工事種別</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>m</td><td>m</td><td>m</td><td>m</td><td>m</td></tr> <tr><td>延べ面積</td><td>m</td><td>m</td><td>m</td><td>m</td><td>m</td></tr> </table> <p>イ 工作物及び立木</p> <table border="1"> <tr><td>工作物の名称</td><td>図示による</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>図示による</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>2 本工事の設計時期</p> <p>本工事設計書は、令和 8 年 4 月 1 日時点での建築工事積算基準、労務単価及び資材単価に基づいて作成している。</p> <p>3 建築工事仕様</p> <p>(1) 標準仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁管理課制定の「建築物解体工事共通仕様書」【令和7年版】(以下「共通仕様書」という。)による。</p> <p>(2) 特記仕様</p> <p>ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>イ 特記事項は、「」に○印の付いたものを適用する。</p> <p>「」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。</p> <p>「」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。</p> <p>ウ 項目及び特記事項に記載の() 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 暴力団員等による不当介入の排除対策</p> <p>請負人は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に掲げる事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。</p> <p>ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。</p> <p>ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。</p> <p>(2) ワンデレレスポンスの実施</p> <p>ア この工事はワンデレレスポンス実施対象工事である。</p> <p>「ワンデレレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。</p> <p>イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。</p> <p>ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。</p> <p>エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。</p> <p>(3) 工事監理業務への協力等</p> <p>ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。</p> <p>イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。</p> <p>ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。工建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。</p> <p>(4) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて</p> <p>本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。</p> <p>(5) 下請業者の業内企業優先活用</p> <p>請負業者は、下請契約の相手方を業内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するよう努めなければならない。</p> <p>(6) 不発弾等発見時の処理について</p> <p>本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術管理課に報告すること。また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態を保存すること。</p> <p>なお、これについては、下請業者へも周知すること。</p> <p>(7) ダンプトラック等の過積載等の防止について</p> <p>ア 工用資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。</p> <p>イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。</p> <p>ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。</p> <p>エ さし詰の資材または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に入入することがないようにすること。</p> <p>オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。))の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の加入者の使用を促進すること。</p> <p>カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。</p> <p>キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。</p> <p>(8) 不正軽油の使用の禁止等について</p> <p>ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用させてはならない。</p> <p>イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。</p>	建築物の名称						主要用途						構造及び階数						工事種別						建築面積	m	m	m	m	m	延べ面積	m	m	m	m	m	工作物の名称	図示による					数量	図示による					<p>① ①通用基準等</p> <p>② ②工事実績情報の登録 (1.1.4)</p> <p>③ ③工事の一時中止に関する事項 (1.1.9)</p> <p>④ ④工事の余裕期間</p> <p>⑤ ⑤電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>⑥ ⑥施工中の安全確保及び環境保全等 (1.3.6) (1.3.9)</p> <p>⑦ ⑦交通安全管理 (1.3.7)</p> <p>⑧ ⑧発生材の処理等 (1.3.10)</p> <p>⑨ ⑨主任技術者・監理技術者等</p>	<p>(1) 「建築物に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)」(平成12年法律第104号)</p> <p>(2) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」(昭和45年法律第137号)</p> <p>(3) 「建設工事公衆災害防止対策要綱」(平成5年1月12日 建設省経建発第1号)</p> <p>(4) 「建設副産物適正処理推進要綱」(平成5年1月12日 建設省経建発第3号)</p> <p>(5) 「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」【国土交通省】[平成15年7月]</p> <p>(6) 「沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に關する実施要領」【沖縄県土木建築部】[平成25年12月]</p> <p>登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。</p> <p>工事の一時中止に係る計画の作成</p> <p>(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。</p> <p>(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p> <p>・本工事は、余裕期間を設定して実施する工事である。</p> <p>(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかると積算上の割増は考慮していない。</p> <p>(2) CORIS登録については、実工期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。</p> <p>(3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は不要とする。</p> <p>(4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものとする。</p> <p>(5) 受注者は、着手関係書類(工程表、請負代金内訳書を除く)について、実工期の始期に提出するものとする。</p> <p>(6) 受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員と協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。</p> <p>(7) 実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。</p> <p>(8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。</p> <p>電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。</p> <p>(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号(最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号))による建設機械を使用すること。</p> <p>(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号(最終改正平成22年3月18日付け国総施設第291号))」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。</p> <p>一般工用建設機械(ディーゼルエンジン出力7.5~260kw)</p> <p>ア バックホウ</p> <p>イ 車輪式トラクタショベル</p> <p>ウ フルドーザ</p> <p>エ 発動電動機</p> <p>オ 空気圧縮機</p> <p>カ 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの)</p> <p>キ ローラック</p> <p>ク ホールクレーン</p> <p>国道6路線及び県道7路線における警備員が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(平成27年4月3日沖縄県公安委員会告示第36号)</p> <p>(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。</p> <p>(2) 本工事により発生する建設産業廃棄物のうち、廃品の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。</p> <p>(3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。</p> <p>また、受注者は、その計画書に「建設副産物情報が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)により作成した、「再生資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。</p> <p>(4) 受注者は、工事で発生した建設産業廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後ゆいくる材の製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。</p> <p>(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受け入れ条件の合う中から運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。</p> <p>(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について</p> <p>ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約でも可とする。</p> <p>「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。</p> <p>http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html</p> <p>なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。</p> <p>イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。</p> <p>ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱について(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。</p> <p>(1) 工事請負代金額が3,500万円以上(建築一式工事の場合7,000万円)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。</p> <p>ア 現場施工に着手するまでの期間</p> <p>【現場施工に着手する日が確定している場合】</p> <p>請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。</p>	<p>【現場施工に着手する日が確定していない場合】</p> <p>請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。</p> <p>イ 検査終了後の期間</p> <p>工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。</p> <p>(2) 主任技術者等の資格</p> <p>主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。</p> <p>・1級土木施工管理技士、1級建築施工管理技士、技術士(建築部門又は総合技術管理部門(建築))又は実務経験(※1)を有する者</p> <p>・2級土木施工管理技士(土木)、2級建築施工管理技士(建築又は解体)、どび技能士(1級)、建設リサイクル法の登録試験である解体工事施工技士又は実務経験(※2)のいずれかを有する者</p> <p>※1 主任技術者としての要件を満たす者のうち、元請けとして4,500万円以上の解体工事に關し2年以上の指導監督的な実務経験を有する者。</p> <p>※2 解体工事に關し大卒(指定学科)3年以上、高卒(指定学科)5年以上、その他10年以上の実務経験を有する者。とび技能士(2級)については、合格後、解体工事に關し3年以上の実務経験を有する者。</p> <p>※ 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。</p> <p>(3) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について</p> <p>ア 建設法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。</p> <p>イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。</p> <p>(4) コンクリート造の工作物(その高さが5メートル以上であるものに限る。)の解体作業時は、コンクリート造の工作物の解体等作業主任者を現場に常駐させること。</p> <p>(5) 解体工事を適切に施工するため、解体作業時は解体工事施工技士を現場に配置することが望ましい。</p>	<p>6 監督員事務所 (2.3.1)</p> <p>⑦ 電気設備の調査等</p> <p>⑧ 機械設備の調査等</p> <p>③ 解体施工</p> <p>1 事前措置 (3.2.1)</p> <p>2 杭の解体 (3.9.2)</p> <p>③ 構内舗装等 (3.11.1)</p> <p>④ 地下埋設物及び埋設配管等 (3.12.1)</p> <p>⑤ 埋戻し、盛土及び整地 (3.13.1)</p> <p>④ ①再資源化等 (4.4.1)</p> <p>② 最終処分 (4.4.3)</p> <p>3 処理に注意を要する建設産業廃棄物 (4.5.1)</p> <p>4 石膏ボードの処理方法</p> <p>5 特別管理産業廃棄物の処理</p> <p>⑥ 石綿含有建材の除去及び処理</p> <p>1 特別管理産業廃棄物 (5.1.2) (5.4.1)</p> <p>⑥ ① 施工調査 (6.1.3)</p> <p>② 石綿含有濃度測定 (6.1.4)</p> <p>3 石綿含有吹付け材の除去 (6.3.2) (6.3.3)</p> <p>4 石綿含有保温材等の除去 (6.4.1)~(6.4.4)</p> <p>5 石綿含有成形板の除去(6.5.4)</p> <p>⑦ 特殊な建設副産物の処理 (7.1.3) (7.3.1)</p>	<table border="1"> <tr><td>規模 (m²)</td><td></td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>床</td></tr> <tr><td></td><td>内壁・天井</td></tr> <tr><td></td><td>屋根</td></tr> <tr><td>備品の種類及び数量</td><td></td></tr> </table> <p>解体する建築物に関わる電力、防災及び弱電設備の引き込み等は、事前に十分調査を行い、切り離し等の措置を施した上で建築物の解体を行うこと。</p> <p>解体する建築物に関わる給水及び排水の配管や汚水拵等については、事前に十分調査を行い、切り離し等の措置を施した上で建築物の解体を行うこと。</p> <p>事前措置の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ <p>(1) 杭の解体: 【 ・ 行う ・ 行わない】</p> <p>(2) 杭の解体工法: 【 ・ 3.9.2(b)(1) ・ 3.9.2(b)(2)】</p> <p>(3) 杭の処理方法:</p> <p>(4) 杭を残置する場合は、転落防止等の措置を行うこと。</p> <p>樹木等の伐採及び移植の数量及び範囲等は、図示による。</p> <p>(1) 地下埋設物の解体: 【 (○) 行う ・ 行わない】</p> <p>(2) 埋設配管の解体: 【 (○) 行う ・ 行わない】</p> <p>(1) 埋戻し及び盛土: 【 (○) 行う ・ 行わない】</p> <p>(2) 埋戻し及び盛土を行う場合の土の種類: 【 ・ A種 (○) B種 ・ C種 ・ D種】</p> <p>(3) 整地の高さ: 【 ・ 現況GL (○) 図示による】</p> <p>(4) 解体後の敷地境界には、木杭及びビニールロープ等により圍障を設置すること。</p> <table border="1"> <tr><td>建設産業廃棄物の種類</td><td>施設までの距離 (Km)</td><td>備考</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(2) 指定建設資材廃棄物としての木材の削減等: 【 ・ 行う (○) 行わない】</p> <p>(3) 再資源化された建設産業廃棄物の現場での使用: 【 ・ 行う (○) 行わない】</p> <table border="1"> <tr><td>建設産業廃棄物の種類</td><td>施設までの距離 (Km)</td><td>備考</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>建設産業廃棄物種類</td><td>処理の方法等</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table> <p>石膏ボードの種類:</p> <p>石膏ボードの処理方法:</p> <table border="1"> <tr><td>種類</td><td>分析調査</td><td>保管・処分</td><td>施設までの距離 (Km)</td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 保管 ・ 処分】</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 保管 ・ 処分】</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 保管 ・ 処分】</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 保管 ・ 処分】</td><td></td></tr> </table> <p>(1) 調査範囲: 図示による。</p> <p>(2) 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与: 【 ・ 有り ・ 無し】</p> <p>(3) 分析による石綿含有の調査: 【 ・ 行う (○) 行わない】</p> <p>調査方法:</p> <table border="1"> <tr><td>測定時期</td><td>測定場所</td><td>測定点数</td><td>備考</td></tr> <tr><td rowspan="2">○ 処理作業中</td><td>・ セキュリティーゾーン入口</td><td>1点</td><td>空気の流れを確認</td></tr> <tr><td>・ 負圧・除じん装置の排出口</td><td>1点</td><td>除じん装置の性能確認</td></tr> <tr><td rowspan="2">○ 処理作業後 (隔風シート除去前)</td><td>○ 施工区周囲周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td></td></tr> <tr><td>・ 処理作業室内</td><td>2点</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 施工区周囲周辺又は敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td></td></tr> </table> <p>(1) 除去工法:</p> <p>(2) 飛散防止措置: ・ 湿潤化 ・ 圓形化</p> <p>(3) 処分方法:</p> <p>(1) 除去工法:</p> <p>(2) 飛散防止措置: ・ 湿潤化 ・ 圓形化</p> <p>(3) 処分方法:</p> <p>(1) 処分方法:</p> <table border="1"> <tr><td>種類</td><td>分析調査</td><td>回収・処分</td><td>施設までの距離 (Km)</td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 回収 ・ 処分】</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 回収 ・ 処分】</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>【 ・ 行う ・ 行わない】</td><td>【 ・ 回収 ・ 処分】</td><td></td></tr> </table>	規模 (m ²)		仕上げ	床		内壁・天井		屋根	備品の種類及び数量		建設産業廃棄物の種類	施設までの距離 (Km)	備考										建設産業廃棄物の種類	施設までの距離 (Km)	備考										建設産業廃棄物種類	処理の方法等							種類	分析調査	保管・処分	施設までの距離 (Km)		【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】			【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】			【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】			【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】		測定時期	測定場所	測定点数	備考	○ 処理作業中	・ セキュリティーゾーン入口	1点	空気の流れを確認	・ 負圧・除じん装置の排出口	1点	除じん装置の性能確認	○ 処理作業後 (隔風シート除去前)	○ 施工区周囲周辺又は敷地境界	4方向各1点		・ 処理作業室内	2点			○ 施工区周囲周辺又は敷地境界	4方向各1点		種類	分析調査	回収・処分	施設までの距離 (Km)		【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 回収 ・ 処分】			【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 回収 ・ 処分】			【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 回収 ・ 処分】		<table border="1"> <tr><td>工事名称</td><td>大富団地(10号棟)解体工事(R8)</td><td>工事年度</td><td>令和 8 年度</td></tr> <tr><td>工事場所</td><td>竹富町字南風見仲地内</td><td>図面名称</td><td>特記仕様書(解体)</td></tr> <tr><td>発注機関</td><td>竹富町建設課</td><td>縮尺</td><td></td></tr> <tr><td>摘要</td><td></td><td>縮画番号</td><td>A - 002</td></tr> <tr><td rowspan="2">検印</td><td>管理建築士</td><td>設計</td><td rowspan="2">設 計 者 名称 資格者氏名 代表者 朝吹 一郎 登録番号 一級建築士 第114962号 所在地 沖縄県石垣市浜崎町2-3-32</td></tr> <tr><td></td><td>製 図</td></tr> </table>	工事名称	大富団地(10号棟)解体工事(R8)	工事年度	令和 8 年度	工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	特記仕様書(解体)	発注機関	竹富町建設課	縮尺		摘要		縮画番号	A - 002	検印	管理建築士	設計	設 計 者 名称 資格者氏名 代表者 朝吹 一郎 登録番号 一級建築士 第114962号 所在地 沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		製 図
	建築物の名称																																																																																																																																																																															
	主要用途																																																																																																																																																																															
	構造及び階数																																																																																																																																																																															
	工事種別																																																																																																																																																																															
	建築面積	m	m	m	m	m																																																																																																																																																																										
	延べ面積	m	m	m	m	m																																																																																																																																																																										
	工作物の名称	図示による																																																																																																																																																																														
	数量	図示による																																																																																																																																																																														
	規模 (m ²)																																																																																																																																																																															
仕上げ	床																																																																																																																																																																															
	内壁・天井																																																																																																																																																																															
	屋根																																																																																																																																																																															
備品の種類及び数量																																																																																																																																																																																
建設産業廃棄物の種類	施設までの距離 (Km)	備考																																																																																																																																																																														
建設産業廃棄物の種類	施設までの距離 (Km)	備考																																																																																																																																																																														
建設産業廃棄物種類	処理の方法等																																																																																																																																																																															
種類	分析調査	保管・処分	施設までの距離 (Km)																																																																																																																																																																													
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 保管 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
測定時期	測定場所	測定点数	備考																																																																																																																																																																													
○ 処理作業中	・ セキュリティーゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																																																																																																																																																													
	・ 負圧・除じん装置の排出口	1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																													
○ 処理作業後 (隔風シート除去前)	○ 施工区周囲周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																														
	・ 処理作業室内	2点																																																																																																																																																																														
	○ 施工区周囲周辺又は敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																														
種類	分析調査	回収・処分	施設までの距離 (Km)																																																																																																																																																																													
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 回収 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 回収 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
	【 ・ 行う ・ 行わない】	【 ・ 回収 ・ 処分】																																																																																																																																																																														
工事名称	大富団地(10号棟)解体工事(R8)	工事年度	令和 8 年度																																																																																																																																																																													
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	特記仕様書(解体)																																																																																																																																																																													
発注機関	竹富町建設課	縮尺																																																																																																																																																																														
摘要		縮画番号	A - 002																																																																																																																																																																													
検印	管理建築士	設計	設 計 者 名称 資格者氏名 代表者 朝吹 一郎 登録番号 一級建築士 第114962号 所在地 沖縄県石垣市浜崎町2-3-32																																																																																																																																																																													
		製 図																																																																																																																																																																														



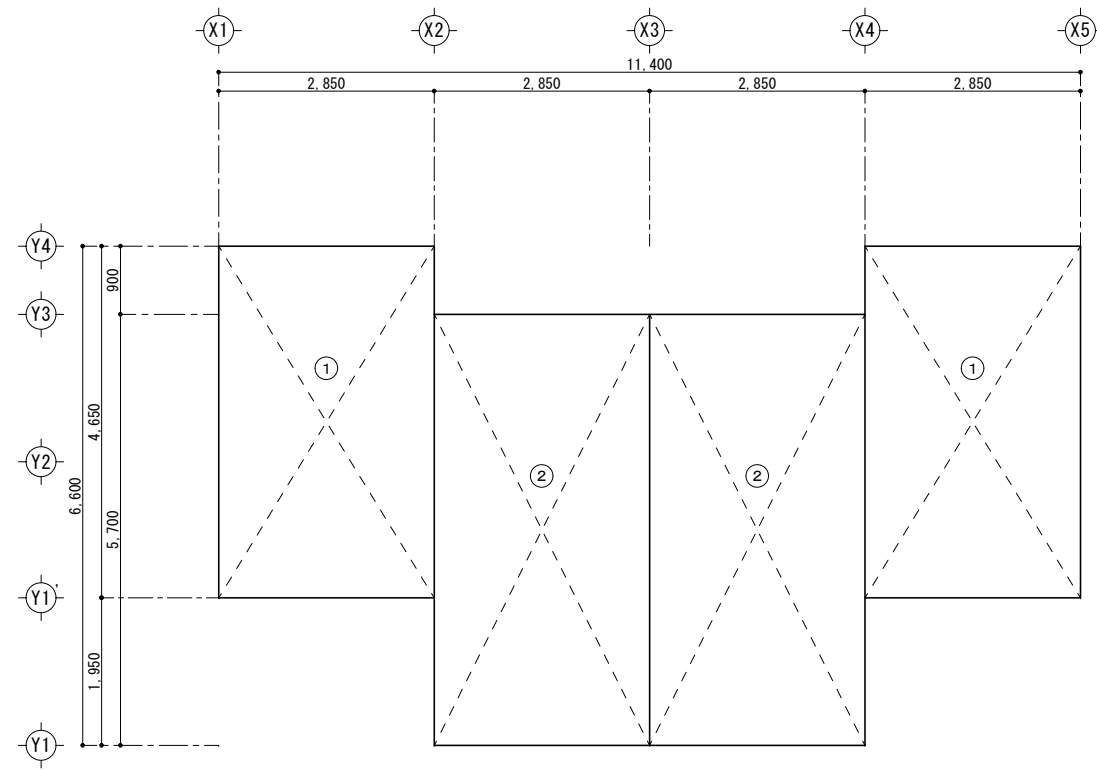
工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	配置図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮 尺	S=1: 600
摘 要		図面番号	A - 003
検 印	管理建築士	設 計	製 図
名 称	南朝吹設計事務所		
資格者氏名	代表者	朝吹 一郎	
登録番号	一級建築士 第114962号		
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		



建築面積・1階床面積算定図 S=1:100

1階床面積算定表			
番号	計算式		面積
1	2.850×6.600	$\times 2$	37.620
2	2.850×5.700	$\times 2$	32.490
			70.110
	計		70.11 m ²

建築面積算定表			
番号	計算式		面積
1	2.850×6.600	$\times 2$	37.620
2	2.850×5.700	$\times 2$	32.490
ア	1.800×0.700	$\times 2$	2.520
			72.630
	計		72.63 m ²



2階床面積算定図 S=1:100

2階床面積算定表			
番号	計算式		面積
1	2.850×4.650	$\times 2$	26.505
2	2.850×5.700	$\times 2$	32.490
ア	1.800×0.700	$\times 2$	2.520
			58.995
	計		58.99 m ²

建築面積	
合計	72.63 m ²
延べ面積	
1階	70.11
2階	58.99
合計	129.10 m ²

工事名称	大富団地解体工事(建築)	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	求積図・面積表
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A - 005
検印	管理建築士	設計	製図
名称	南朝吹設計事務所		
資格者氏名	代表者	朝吹 一郎	
登録番号	一級建築士 第114962号		
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		

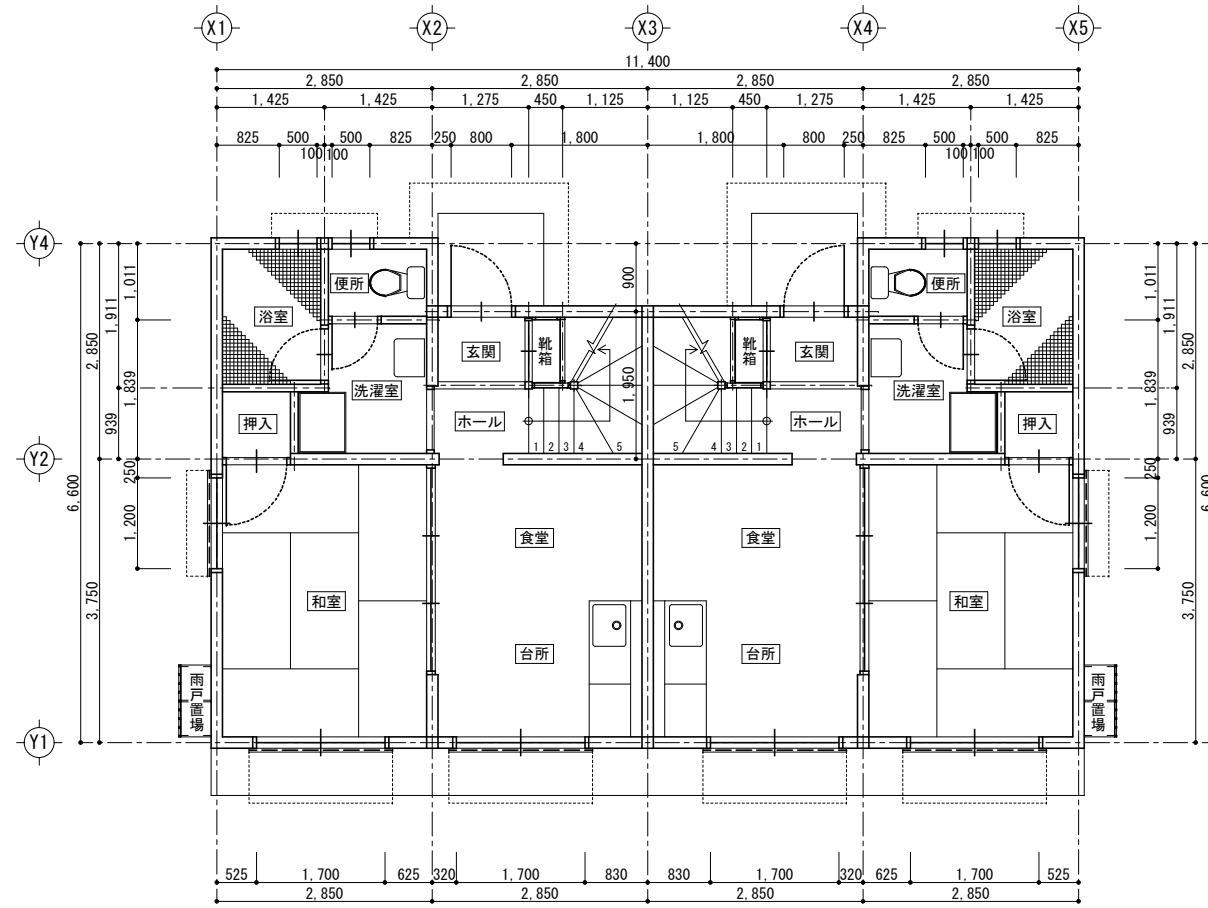
外部仕上表					
屋根	防水剤 コンクリート金ゴテ押え 水勾配1/200	バルコニー	床：コンクリート金ゴテ押え 壁：ア)18 モルタル塗り下地 アクリル系リシン吹付	壁 種	硬質塩化ビニール VP仕上げ
外壁	ア)18 モルタル塗り下地 アクリル系リシン吹付	プランターBOX	外壁：コンクリート素地 アクリル系リシン吹付 塩ビ水ぬきパイプ 40φ 客土(別途)	雨水集水槽	コンクリート素地 アクリル系リシン吹付
庇裏	コンクリート素地の上 VP	天井換気孔 床下換気口	SK式換気孔(LB1型) 200×400換気用ブロック(防虫網取付)	ドレイン	鋳鉄製 コールタール焼付(フロアードレイン)
ポーチ 犬走り	コンクリート金ゴテ仕上げ	棟番号	25×25モザイクタイル貼り 取り付け場所は妻側とする	転落防止手すり	アルミ製

内部仕上表													
	室名	床	塗装	巾 木	塗装	腰 壁	塗装	壁	塗装	天 井	塗装	天井高	備 考
1 階	玄 関	ア)30 モルタル金ゴテ		ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)15 モルタル金ゴテ 一部：ア)4 プリント合板	VP	コンクリート素地 ア)5 パーライト吹付		2,660	靴 箱
	ホー ル	ア)12 合板フローア		24×90 杉材	OP	ア)15 モルタル金ゴテ		ア)15 モルタル金ゴテ	VP	コンクリート素地 ア)5 パーライト吹付		2,410	
	台 所 食 堂	ア)12 合板フローア		24×90 杉材	OP	ア)15 モルタル金ゴテ		ア)15 モルタル金ゴテ	VP	コンクリート素地 ア)5 パーライト吹付		2,410	ステンレス流し台、吊り棚 ステンレスレンジフード、水切り棚
	和 室 6.0 帖	ア)15 杉板下地 タタミ敷		タタミ寄せ 40×60杉材	CL	ア)4 プリント合板		ア)4 プリント合板		ア)30 ポリスチレンフォーム打込み ア)5 パーライト吹付		2,370	クーラー配管用スリーブ 畳
	押 入	ア)9 ラワン合板		雑巾摺 15×15		ア)2.7 ラワン合板		ア)2.7 ラワン合板		コンクリート素地			
	洗濯室	ア)3 ウレタン樹脂系 塗床		防水モルタル金ゴテ	VP	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)5 フレキシブルボード 目透かし	VP	2,150	洗濯パン
	便 所	ア)3 ウレタン樹脂系 塗床		防水モルタル金ゴテ		ア)15 モルタル金ゴテ		ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)5 フレキシブルボード 目透かし	VP	2,150	
	浴 室	25角 モザイクタイル		100角 半磁器質タイル		ア)15 モルタル金ゴテ		ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)5 フレキシブルボード 目透かし	VP	2,150	
	階段室	33×290 ラワン	CL	24×90 杉材	CL	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)30 ポリスチレンフォーム打込み ア)5 パーライト吹付			
2 階	廊 下	ア)12 合板フローア		24×90 杉材	CL	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)15 モルタル金ゴテ	VP	ア)30 ポリスチレンフォーム打込み ア)5 パーライト吹付		2,560	
	和 室 6.0 帖	ア)30 モルタル金ゴテ アスファルトルーフィング貼り タタミ敷		タタミ寄せ 40×60杉材	CL	ア)4 プリント合板		ア)4 プリント合板		ア)30 ポリスチレンフォーム打込み 合板天井板 目透かし貼り		2,400	クーラー配管用スリーブ 畳
	和 室 4.5 帖	ア)30 モルタル金ゴテ アスファルトルーフィング貼り タタミ敷		タタミ寄せ 40×60杉材	CL	ア)4 プリント合板		ア)4 プリント合板		ア)30 ポリスチレンフォーム打込み 合板天井板 目透かし貼り		2,400	畳
	押 入	ア)9 ラワン合板		雑巾摺 15×15		ア)2.7 ラワン合板		ア)2.7 ラワン合板		ア)30 ポリスチレンフォーム打込み			

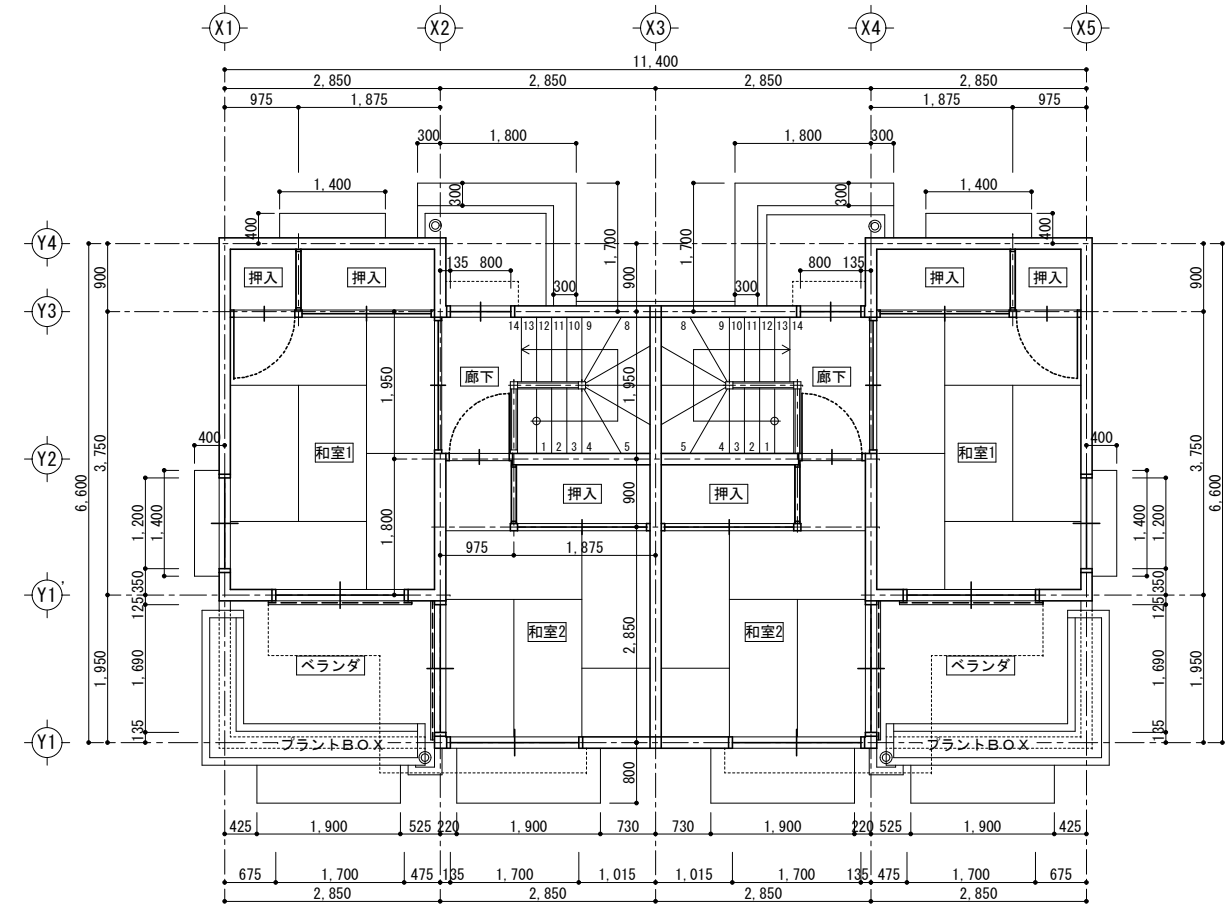
■凡例

OP	油性調合ペイント
CL	クリアラッカー
VP	塩化ビニル樹脂エナメルペイント

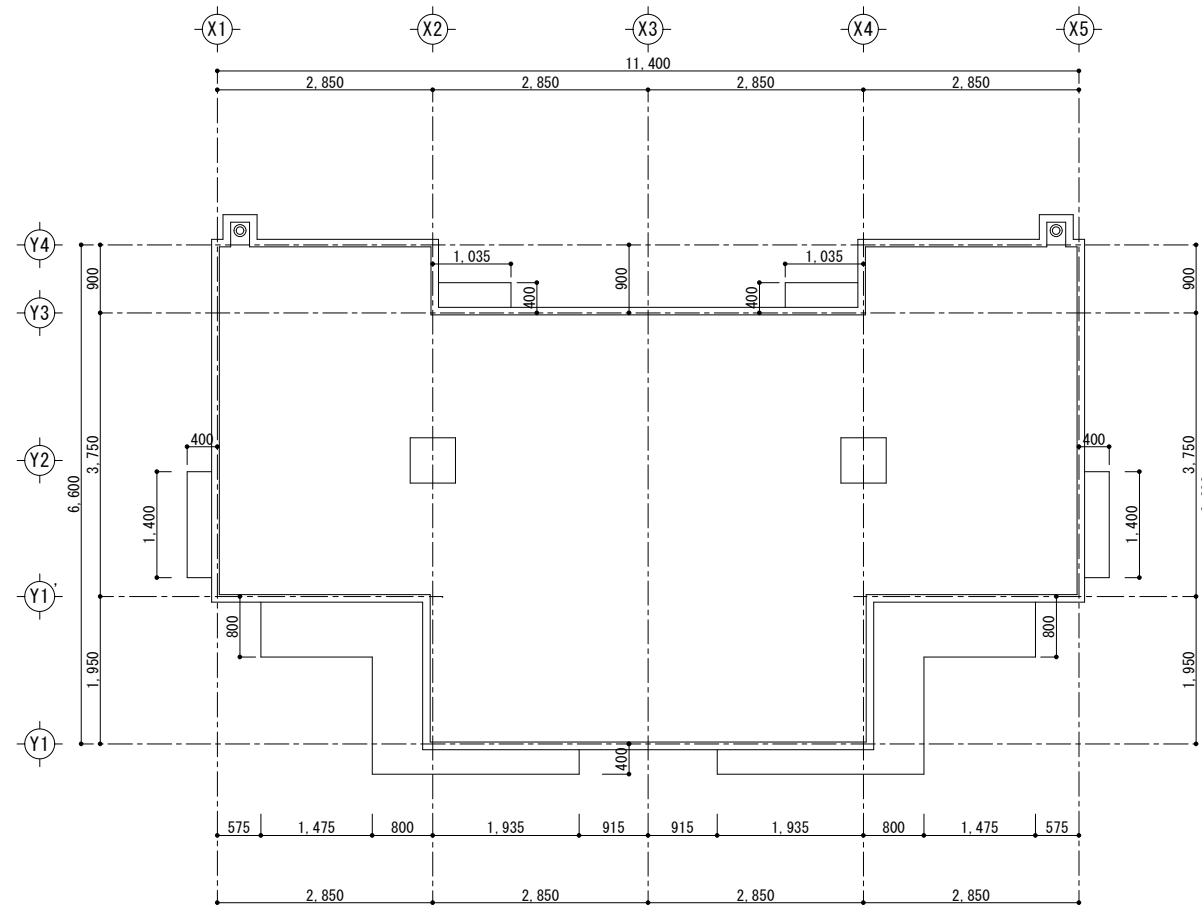
工事名称	大富団地解体工事(建築)	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	仕上表
発注機関	竹富町まちづくり課	縮 尺	—
摘 要		図面番号	A - 006
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		設 計 者	名 称 南朝吹設計事務所
			資格者氏名 代表者 朝吹 一郎
			登録番号 一級建築士 第114962号
			所在地 沖縄県石垣市浜崎町2-3-32



1階平面図 S=1:100

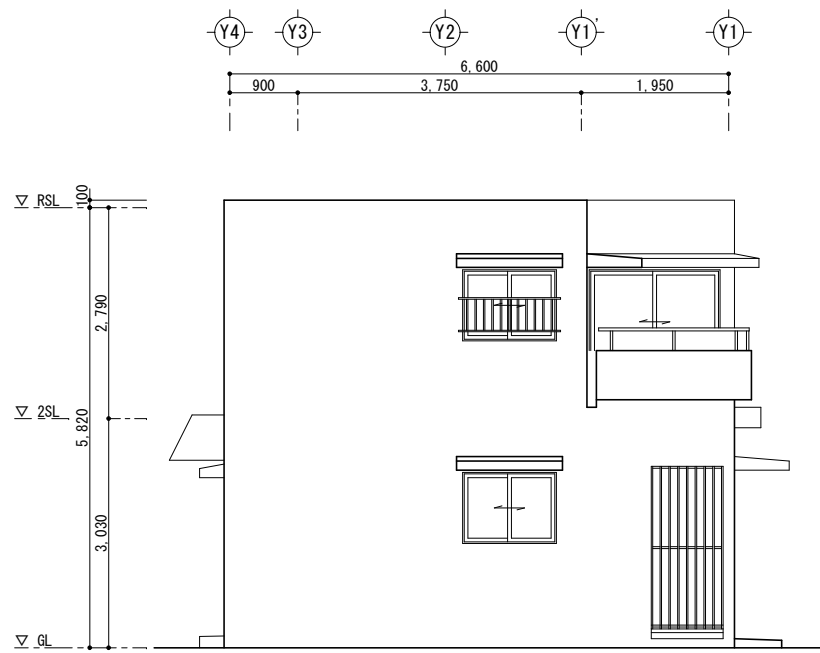


2階平面図 S=1:100

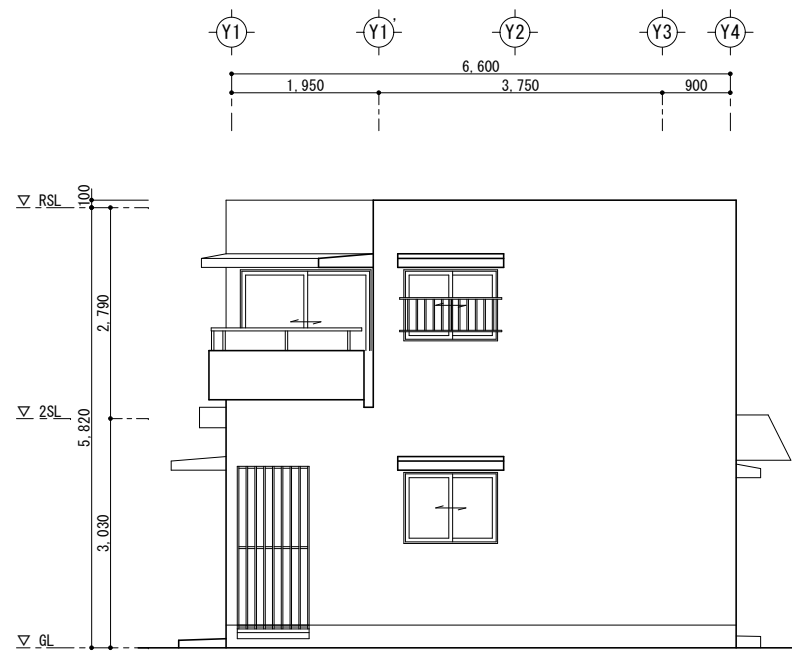


R階平面図 S=1:100

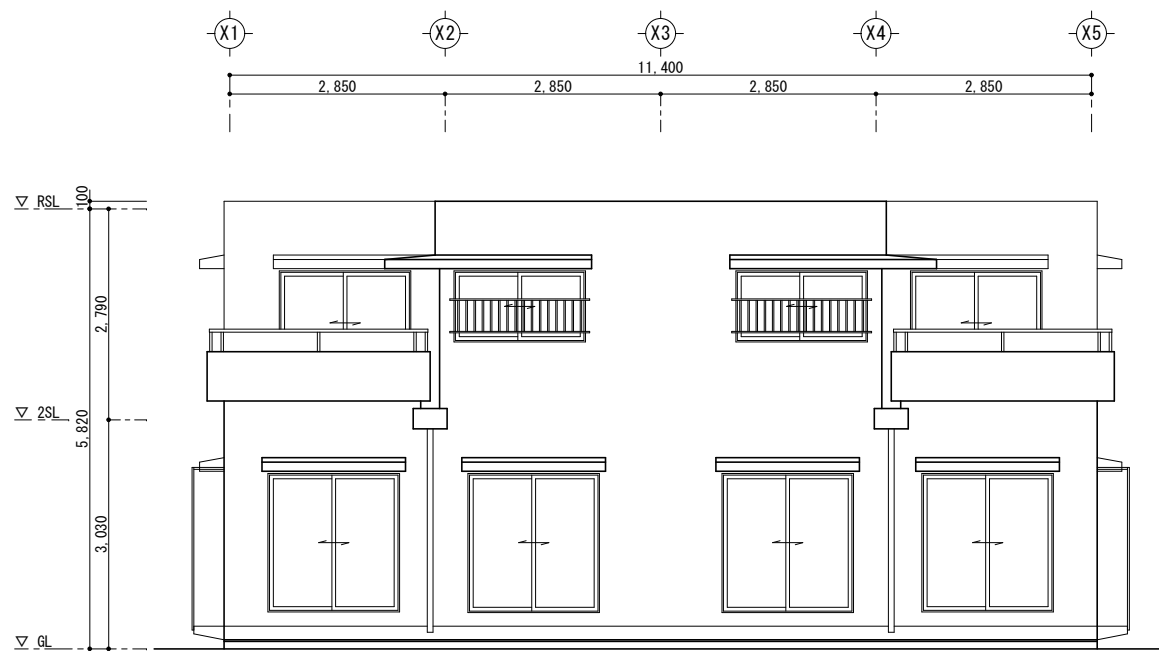
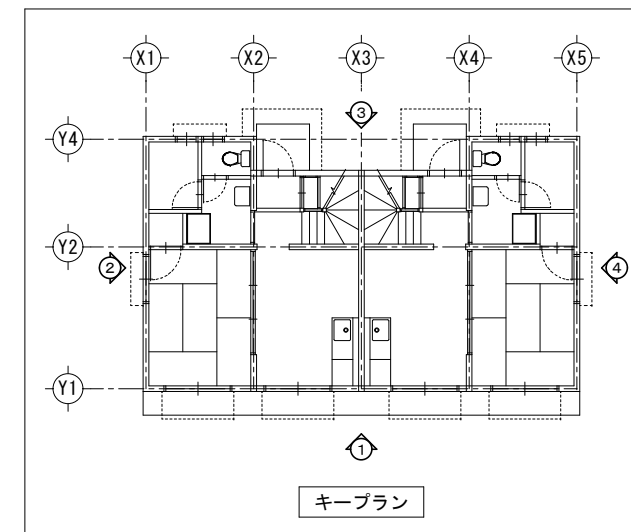
工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	平面図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A - 007
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	衛朝吹設計事務所	
	資格者氏名	代表者 朝吹 一郎	
	登録番号	一級建築士 第114962号	
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		



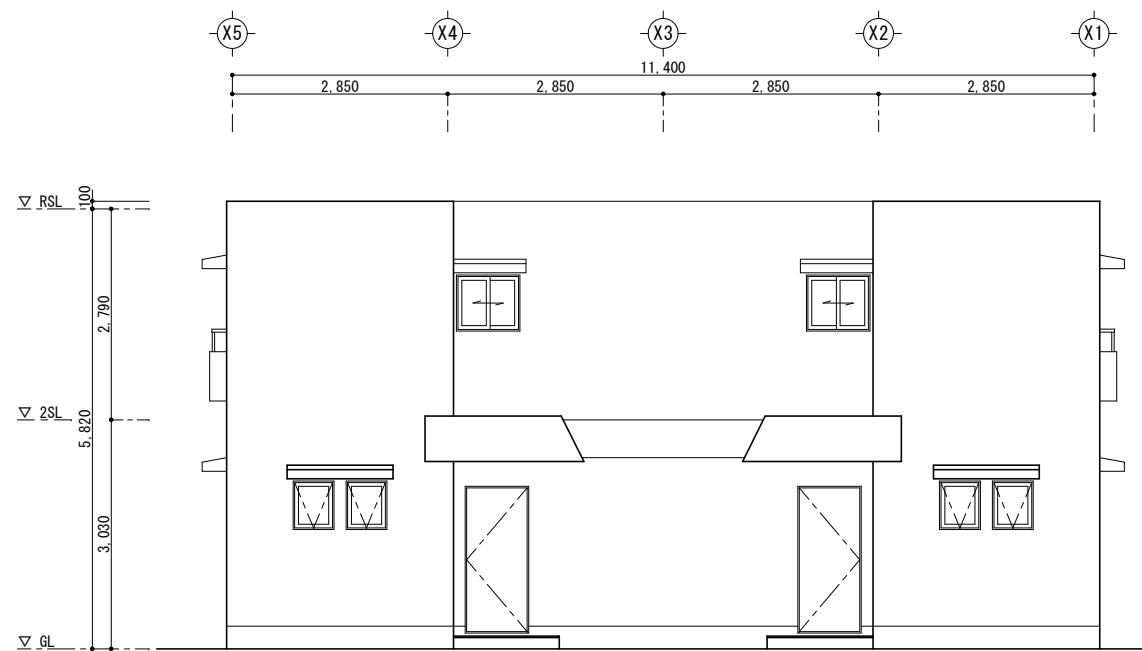
② 立面図 S=1:100



④ 立面図 S=1:100

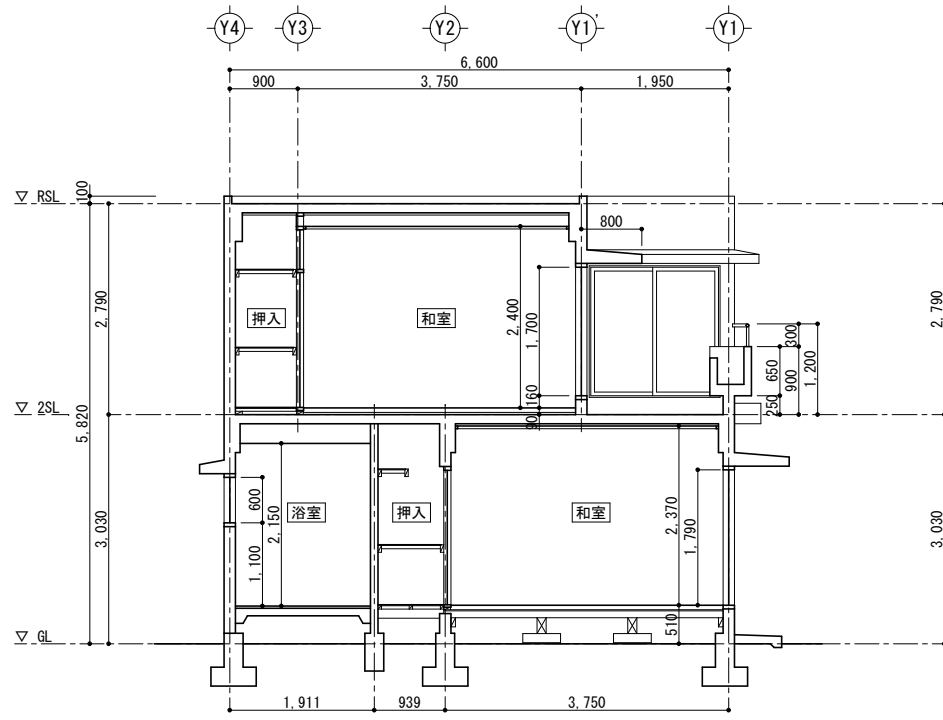


① 立面図 S=1:100

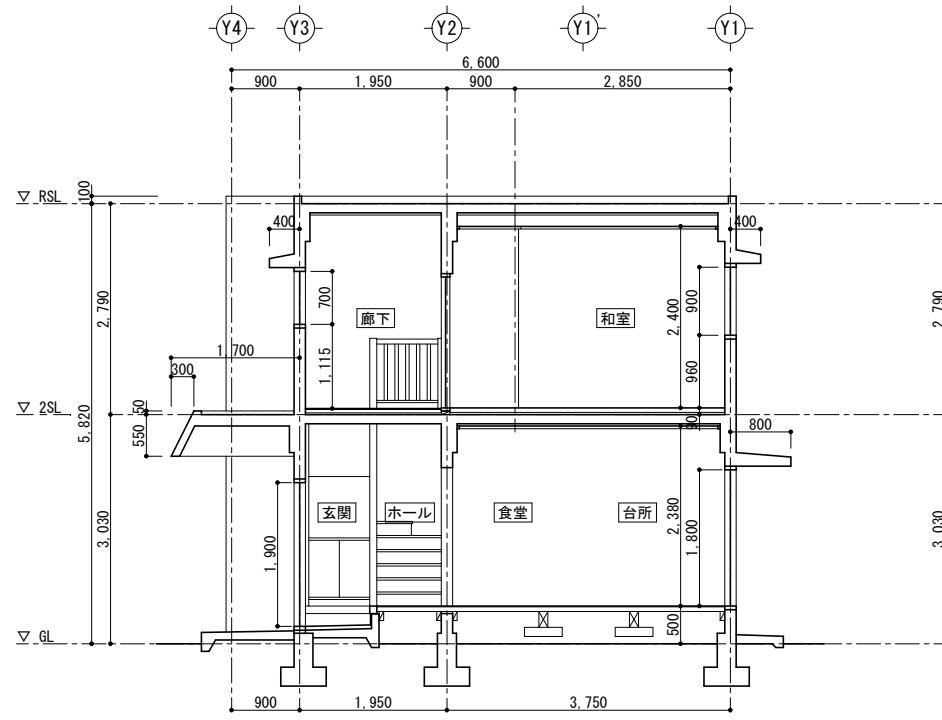


③ 立面図 S=1:100

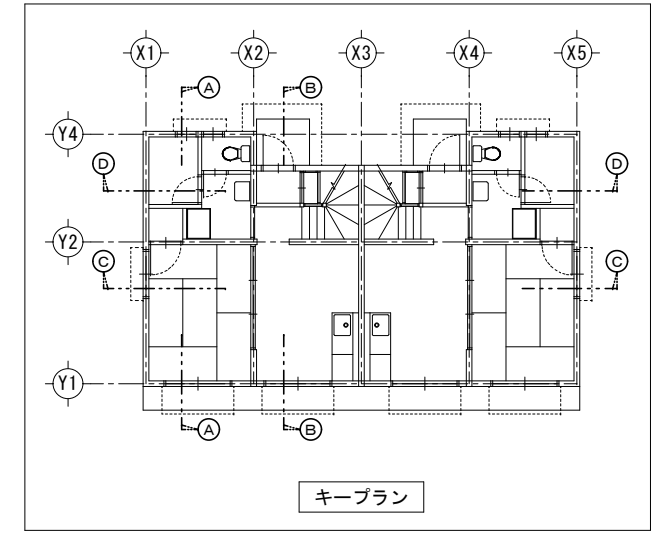
工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	立面図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A - 008
検印	管理建築士	設計製図	名称
			名称
			資格者氏名
			代表者
			朝吹 一郎
			登録番号
			一級建築士 第114962号
			所在地
			沖縄県石垣市浜崎町2-3-32



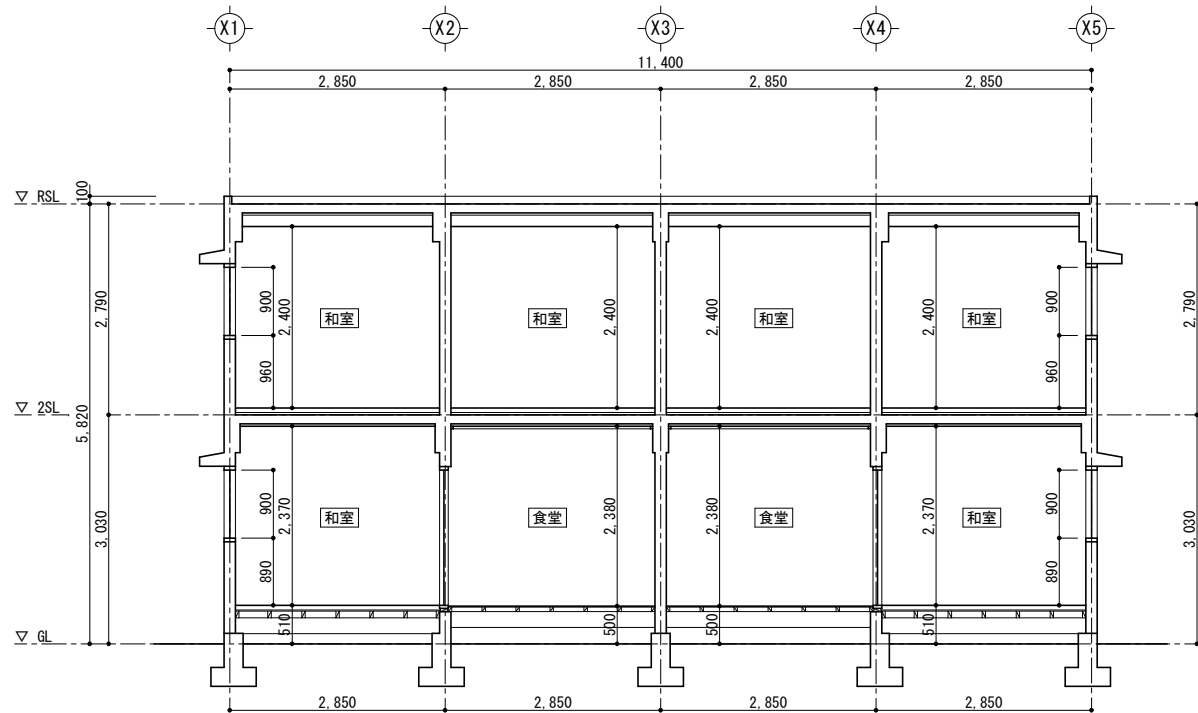
①～① 断面図 S=1:100



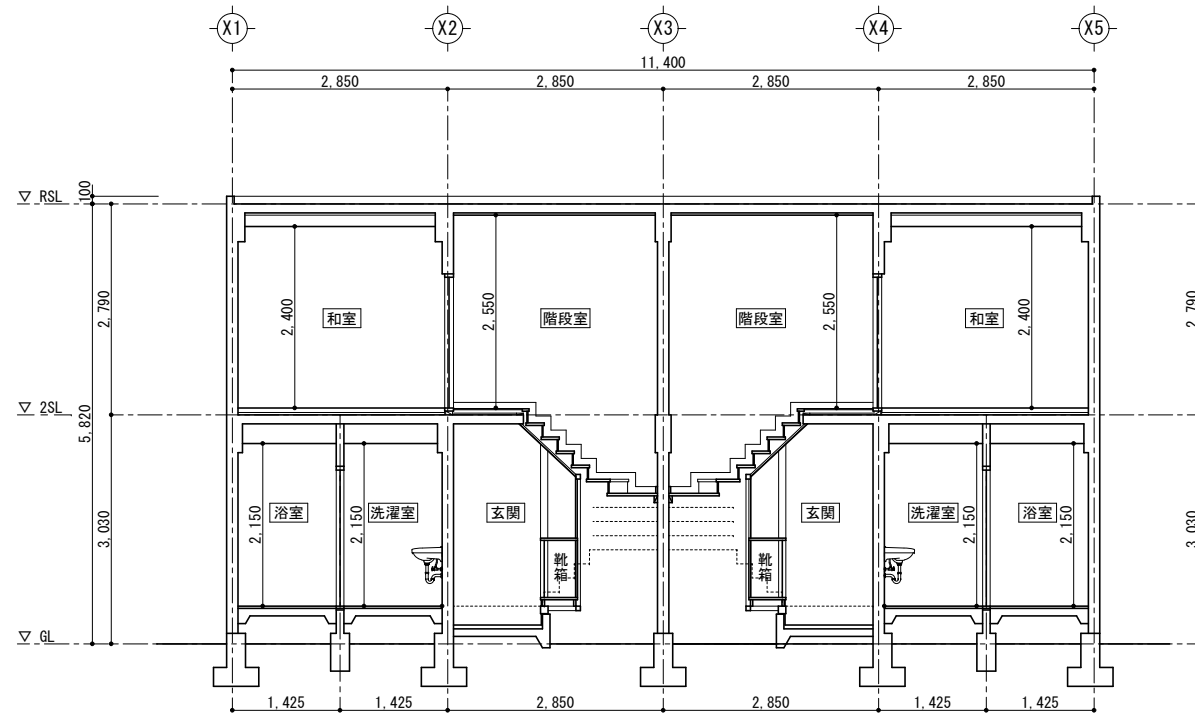
②～② 断面図 S=1:100



キープラン



③～③ 断面図 S=1:100

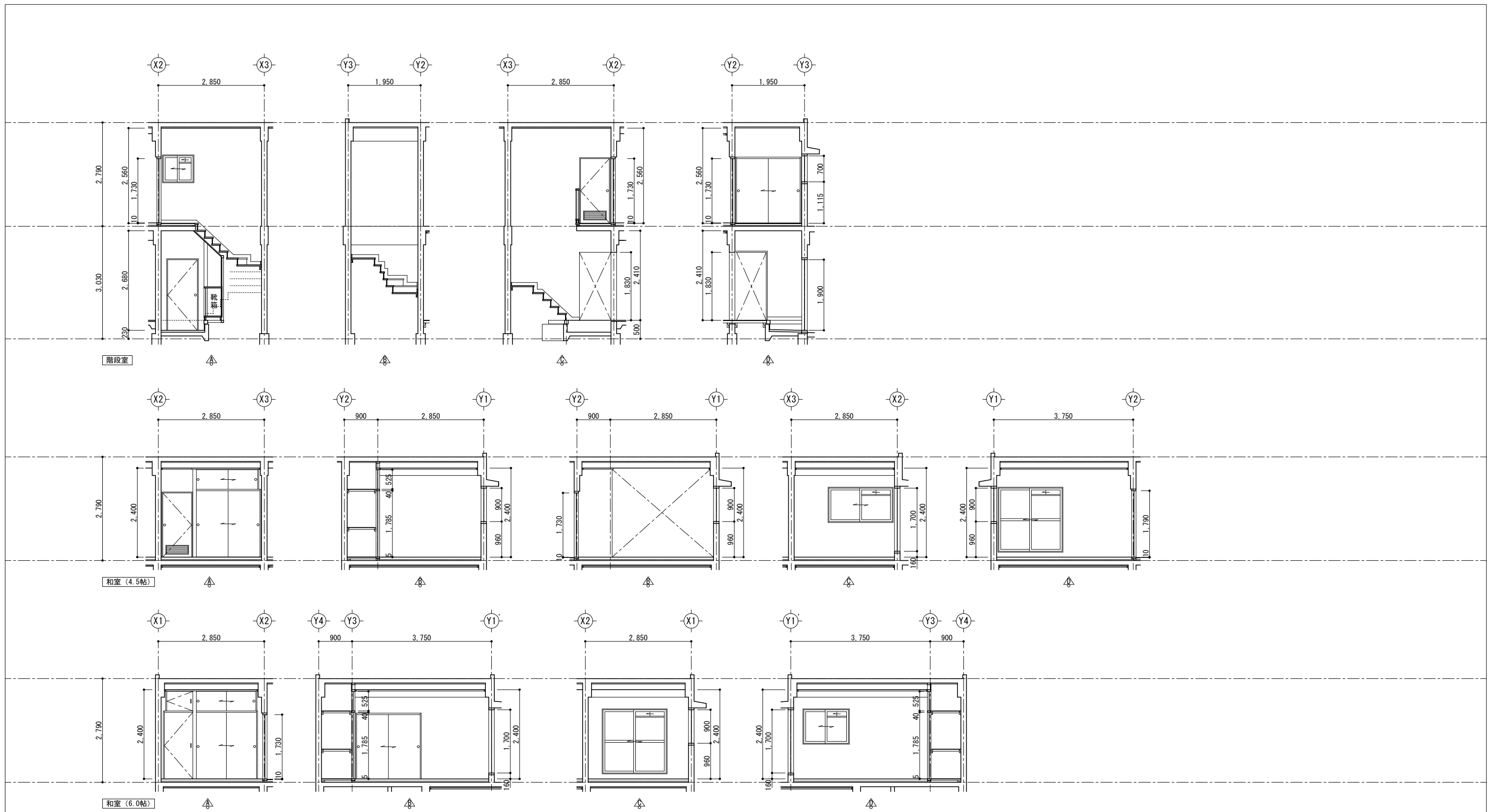


④～④ 断面図 S=1:100

工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	断面図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A - 009
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	南朝吹設計事務所	
	資格者氏名	代表者	朝吹 一郎
	登録番号	一級建築士 第114962号	
	所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32	



工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	展開図 1
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1: 100
摘要		図面番号	A - 010
検印	管理建築士	設計	製図
名称	衛朝吹設計事務所		
資格者氏名	代表者	朝吹 一郎	
登録番号	一級建築士 第114962号		
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		

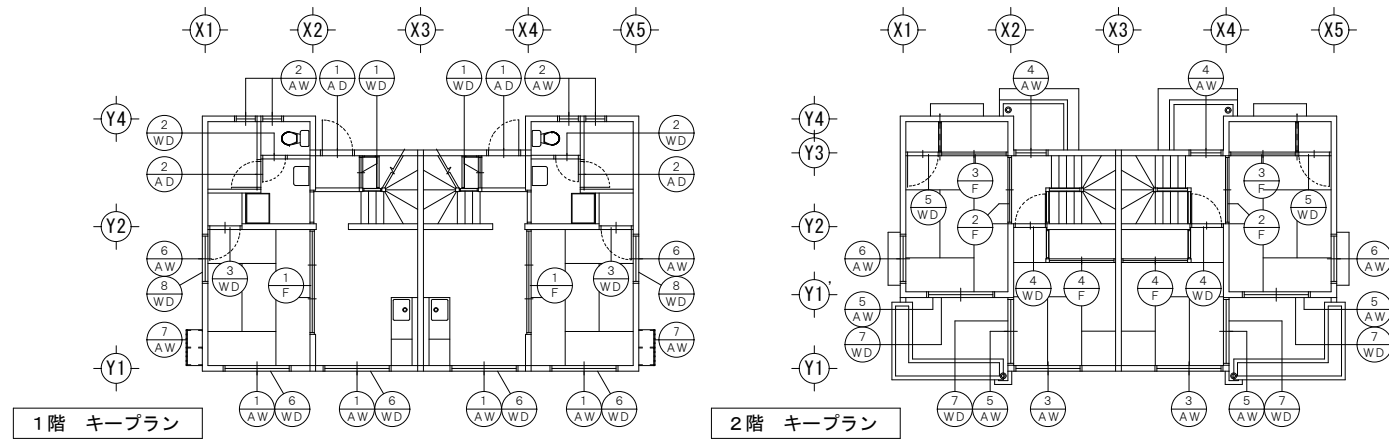


工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	展開図 2
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	A - 011
検印	管理建築士	設計	製図
名称	南朝吹設計事務所		
資格者氏名	代表者 朝吹 一郎		
登録番号	一級建築士 第114962号		
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		

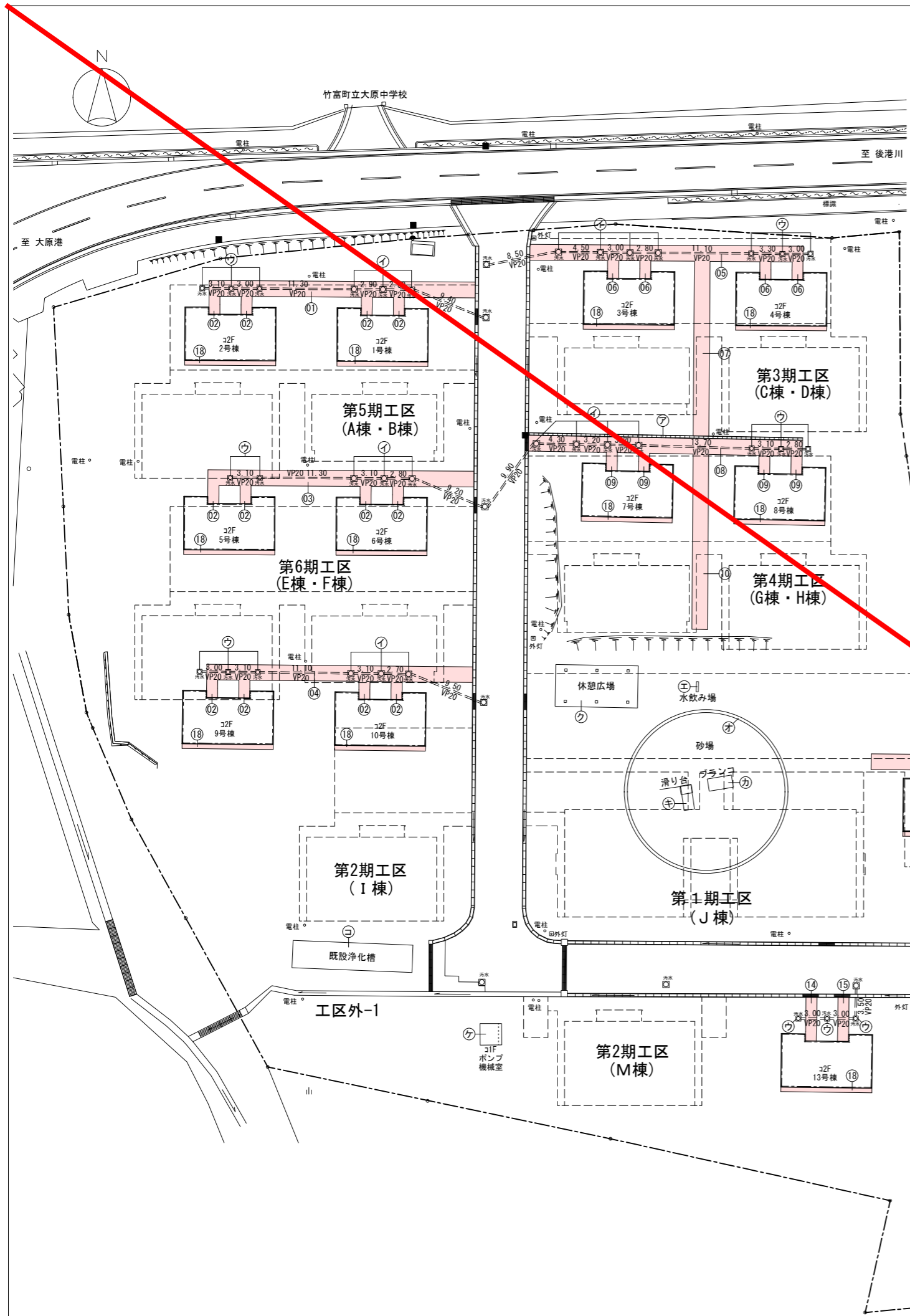
符 号 場 所 数 量	① AD 1階 玄関 2ヶ所	② AD 1階 浴室 2ヶ所	① AW 1階 和室・台所 4ヶ所	② AW 1階 浴室・便所 4ヶ所	③ AW 2階 和室(4.5帖) 2ヶ所	④ AW 2階 廊下 2ヶ所	⑤ AW 2階 和室 (6.0・4.5帖) 4ヶ所
形 状 寸 法							
形 式 ・ 見 込	アルミ製片開きフラッシュドア	アルミ製片開き扉ドア(ガラリ付)	アルミ製引き違い窓	アルミ製内倒し窓	アルミ製引き違い窓	アルミ製引き違い窓	アルミ製引き違い窓
仕 上 ・ 硝 子	アルマイト処理	アルマイト処理 型板ガラス t=4.0mm	アルマイト処理 透明板ガラス 上窓:t=5.0mm・下窓:t=6.0mm	アルマイト処理 透明板ガラス t=6.0mm	アルマイト処理 透明板ガラス t=5.0mm	アルマイト処理 透明板ガラス t=5.0mm	アルマイト処理 透明板ガラス 上窓:t=5.0mm・下窓:t=6.0mm
付 属 金 物	ケースハンドル、本締り錠、ドアクローザー ステンレス丁番、戸当り、郵便受箱 その他付属金物一式	ケースハンドル、押しボタン錠 ステンレス丁番、戸当り その他付属金物一式	クレセント その他付属金物一式	トップラッチ、ストッパー その他付属金物一式	クレセント その他付属金物一式	クレセント その他付属金物一式	クレセント その他付属金物一式
備 考	下枠: SUS304 t=1.5		小窓・網戸付き		小窓・網戸・アルミ格子付き(外付け)	小窓・網戸付き	小窓・網戸付き

符 号 場 所 数 量	⑥ AW 1・2階 和室(6.0帖) 4ヶ所	⑦ AW 1階 外部 2ヶ所	① WD 1階 玄関 2ヶ所	② WD 1階 便所 2ヶ所	③ WD 1階 和室 2ヶ所	④ WD 2階 和室(4.5帖) 2ヶ所	⑤ WD 2階 和室(6.0帖) 2ヶ所
形 状 寸 法							
形 式 ・ 見 込	アルミ製引き違い窓	アルミ製格子	木製引き違いフラッシュ戸	木製片開きフラッシュ戸(ガラリ付)	木製片開きフラッシュ戸	木製片開きフラッシュ戸(ガラリ付)	木製片開きフスマ戸(ランマ戸付)
仕 上 ・ 硝 子	アルマイト処理 透明板ガラス t=5.0mm	25×20 格子	玄関側:t=4.0mmプリント合板 靴箱側:t=3.0mmラワン合板	t=4.0mmプリント合板	ビニール系フスマ紙	t=4.0プリント合板	ビニール系フスマ紙
付 属 金 物	クレセント その他付属金物一式	その他付属金物一式	ステンレス引手 その他付属金物一式	ケースハンドル、押しボタン錠 ステンレス丁番、戸当り その他付属金物一式	取っ手、マグネットキャッチ ステンレス丁番 その他付属金物一式	ケースハンドル、押しボタン錠 ステンレス丁番 その他付属金物一式	取っ手、マグネットキャッチ ステンレス丁番 その他付属金物一式
備 考	小窓・網戸・アルミ格子付き(外付け)						

符 号 場 所 数 量	① F 1階 和室(6.0帖) 2ヶ所	⑥ WD 1階 和室・台所 4ヶ所	⑦ WD 2階 和室(6.0・4.5帖) 4ヶ所	⑧ WD 1階 和室(6.0帖) 2ヶ所	② F 2階 和室(6.0帖) 2ヶ所	③ F 2階 和室(6.0帖) 2ヶ所	④ F 2階 和室(4.5帖) 2ヶ所
形 状 寸 法							
形 式 ・ 見 込	木製引き違いフスマ戸	木製嵌め込み雨戸	木製嵌め込み雨戸	木製嵌め込み雨戸	木製引き違いフスマ戸	木製引き違いフスマ戸(ランマ付)	木製引き違いフスマ戸(ランマ付)
仕 上 ・ 硝 子	ビニール系フスマ紙	枠組: 30×60杉材 t=9.0mm杉板貼り	枠組: 30×60杉材 t=9.0mm杉板貼り	枠組: 30×60杉材 t=9.0mm杉板貼り	ビニール系フスマ紙	ビニール系フスマ紙	ビニール系フスマ紙
付 属 金 物	取っ手 その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	その他付属金物一式	取っ手 その他付属金物一式	取っ手 その他付属金物一式	取っ手 その他付属金物一式
備 考							

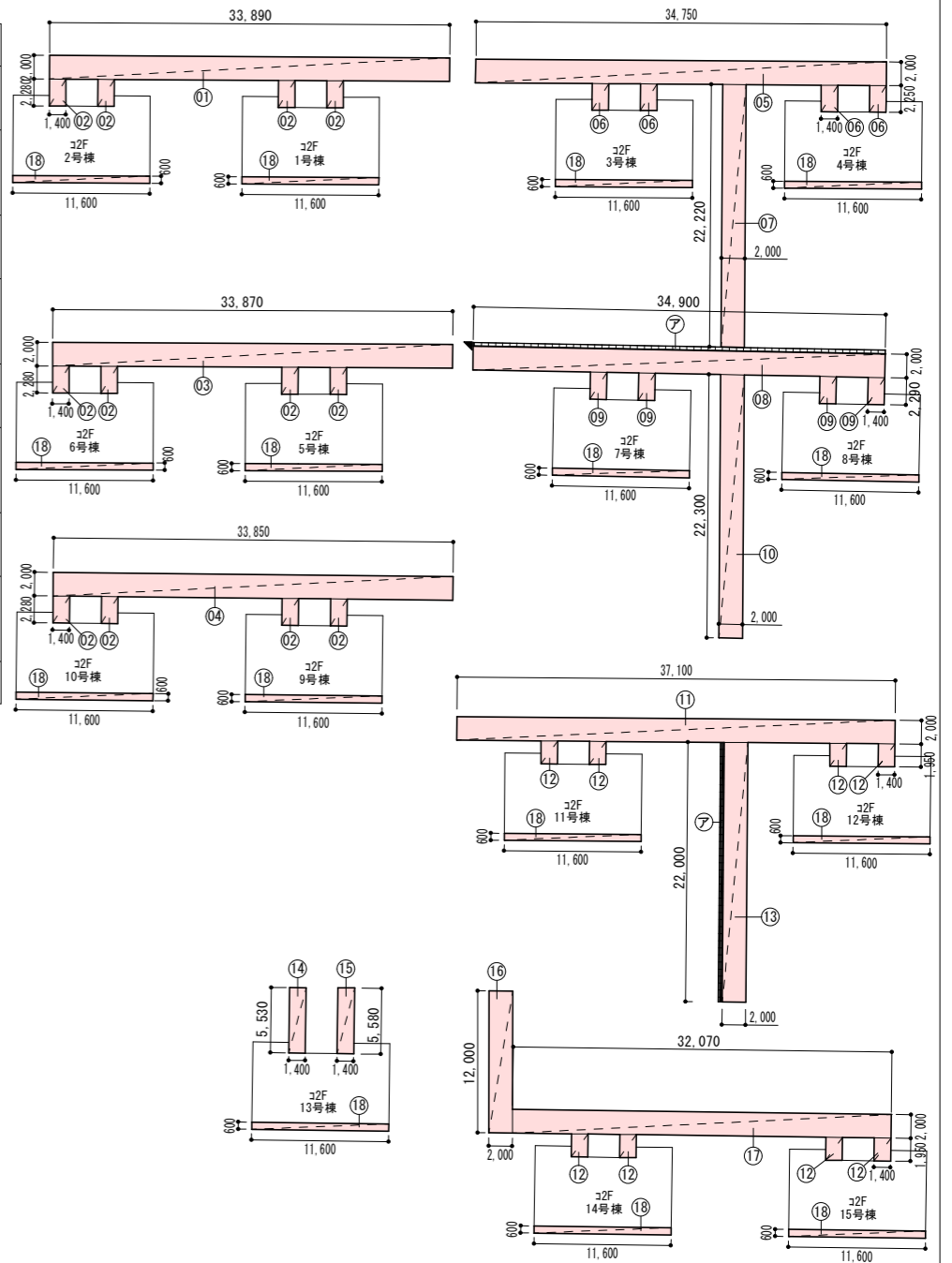


工事名称	大富団地解体工事(建築)	工事年度	令和7年度	
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	建具図	
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100	
摘要		図面番号	A-012	
検印	管理建築士	設計製図	名称	南朝吹設計事務所
			資格者氏名	代表者 朝吹 一郎
			登録番号	一級建築士 第114962号
			所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32



コンクリート土間撤去数量 (厚さ=120mm)

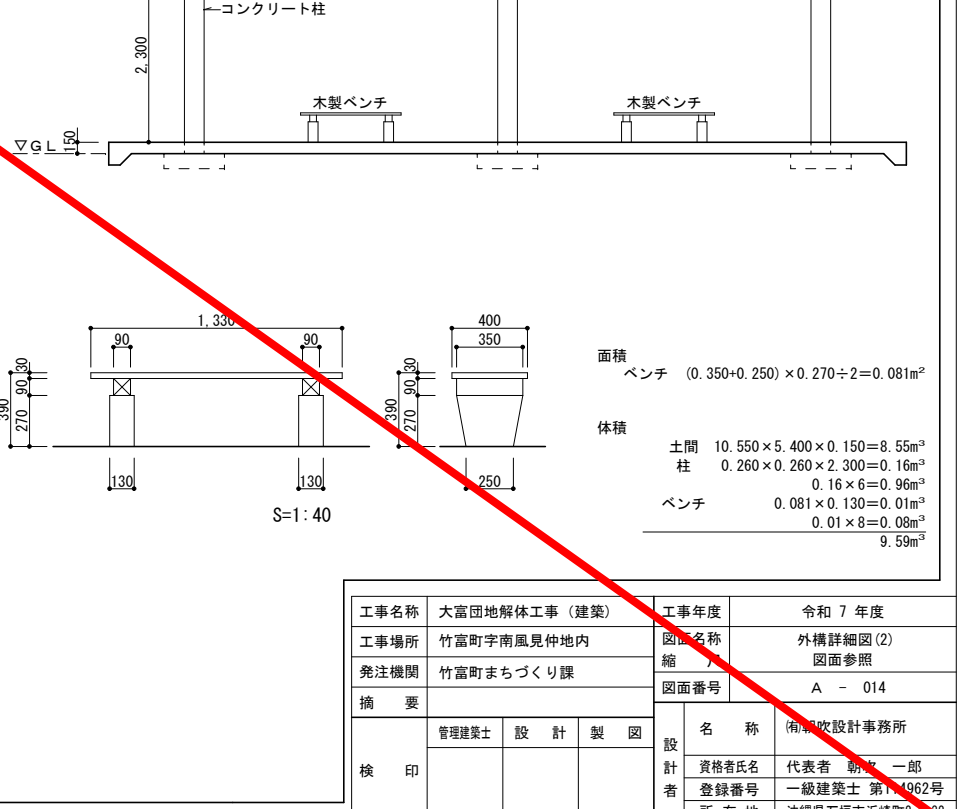
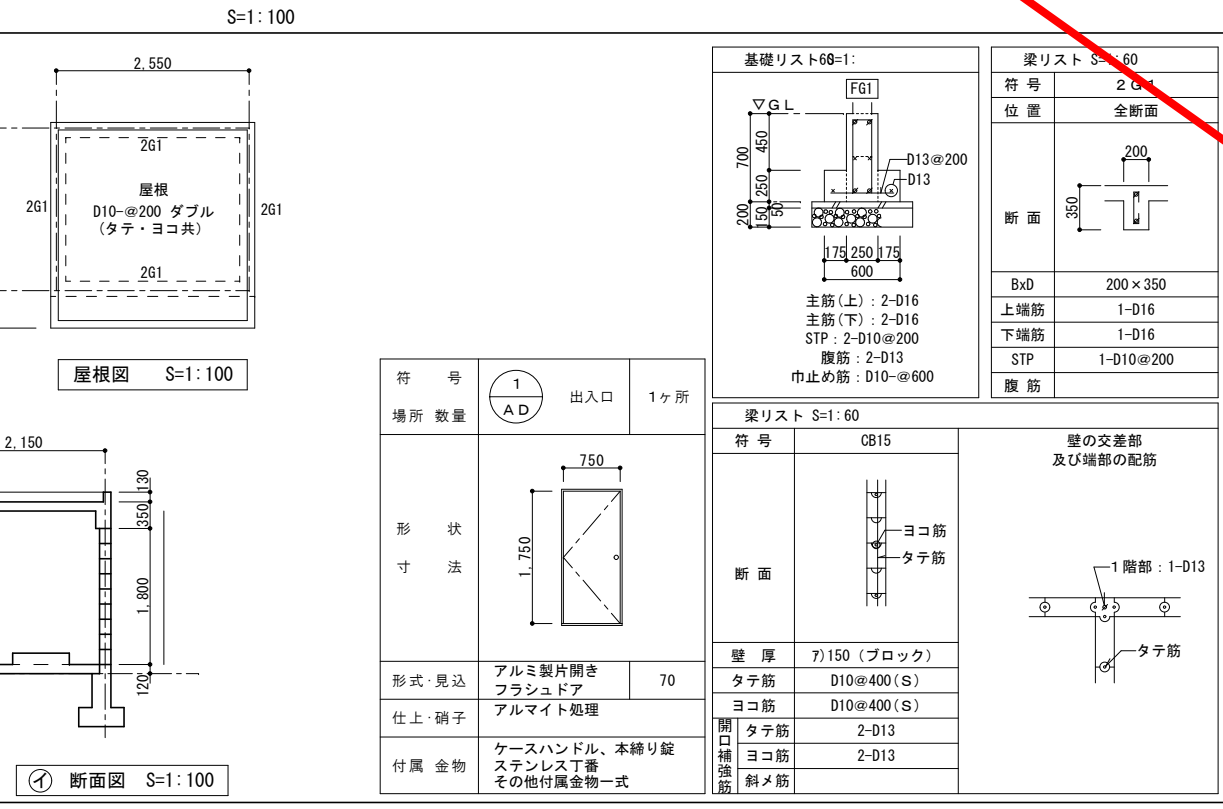
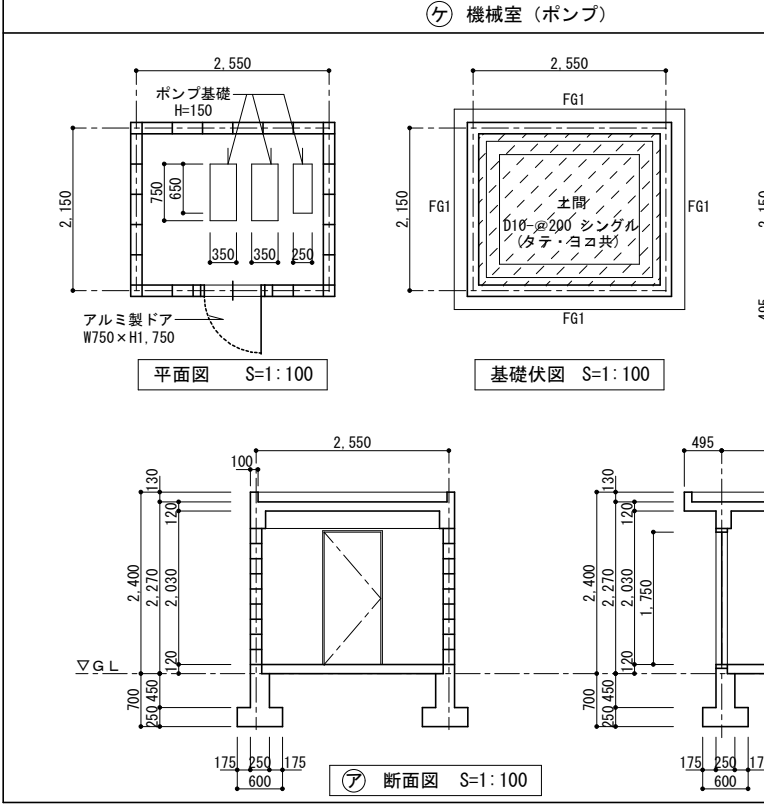
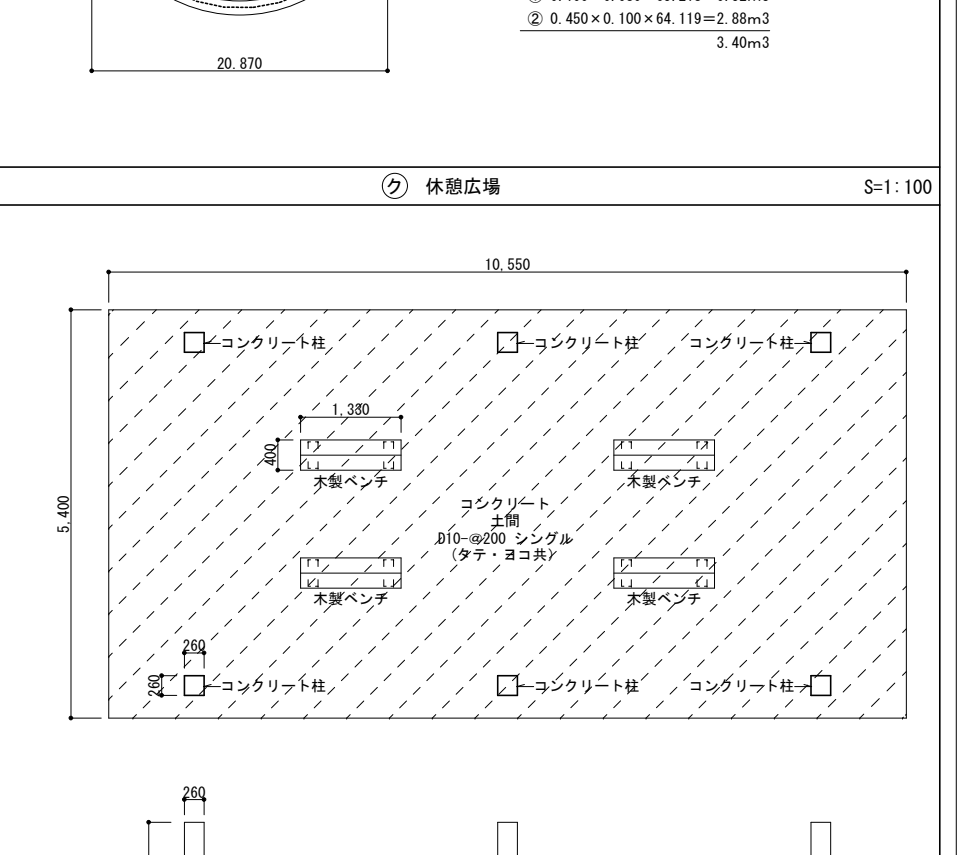
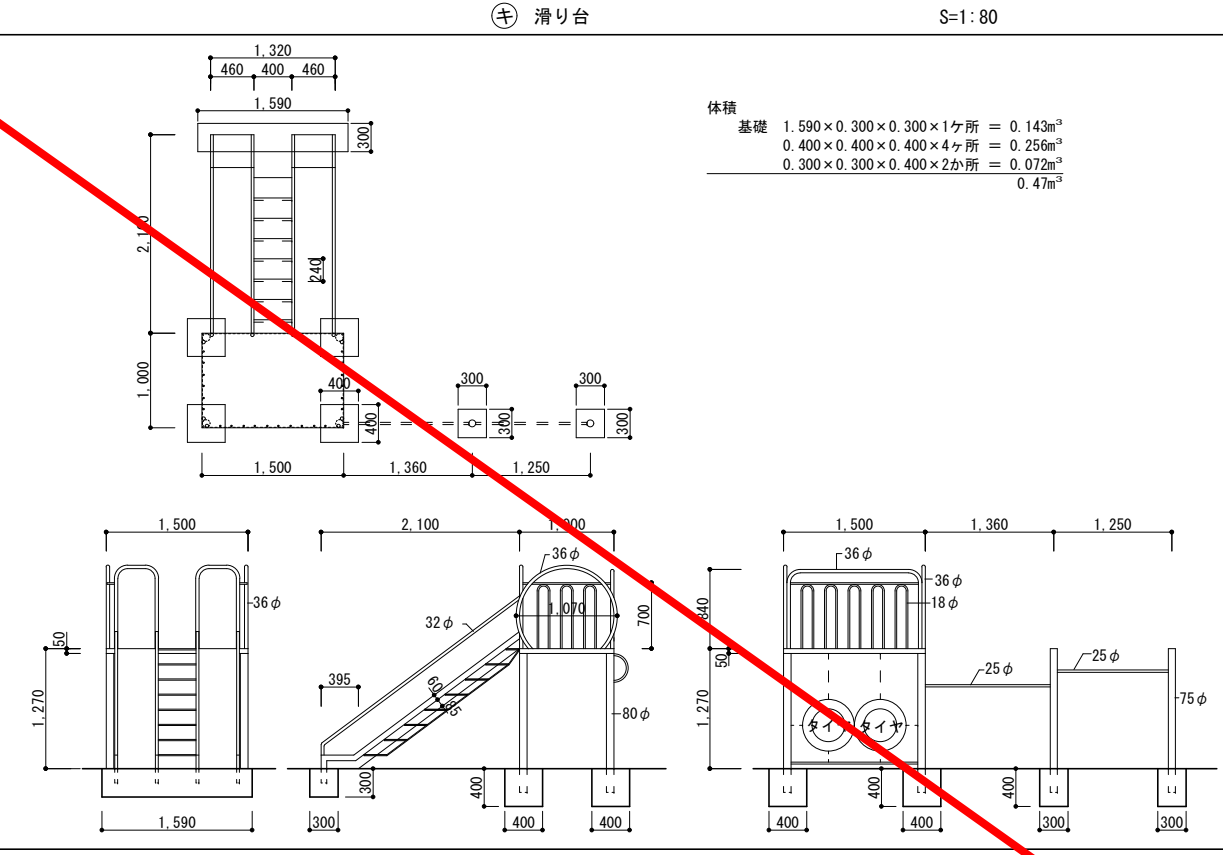
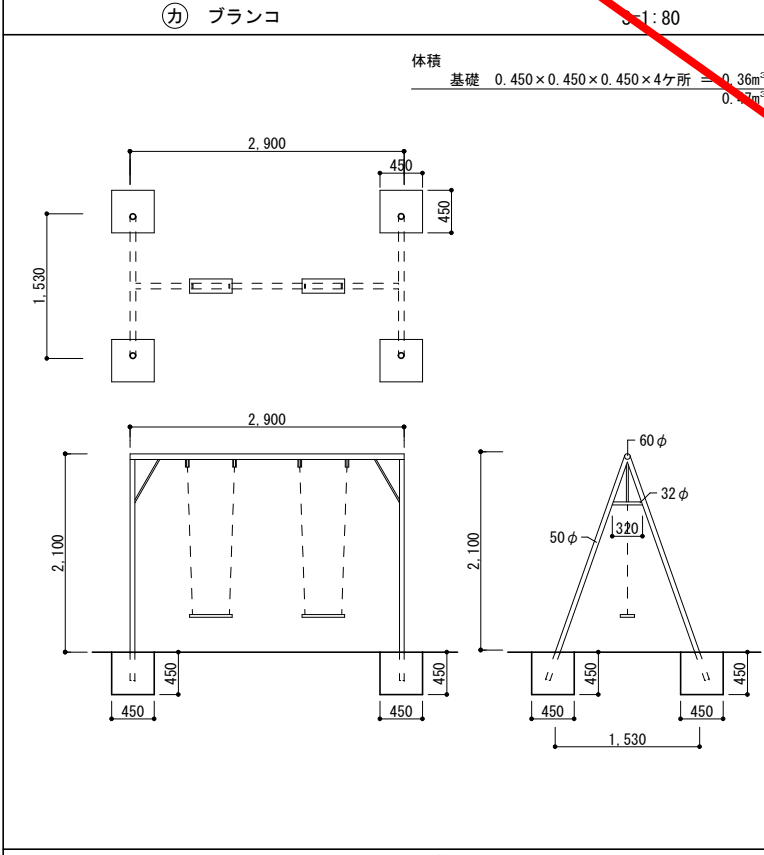
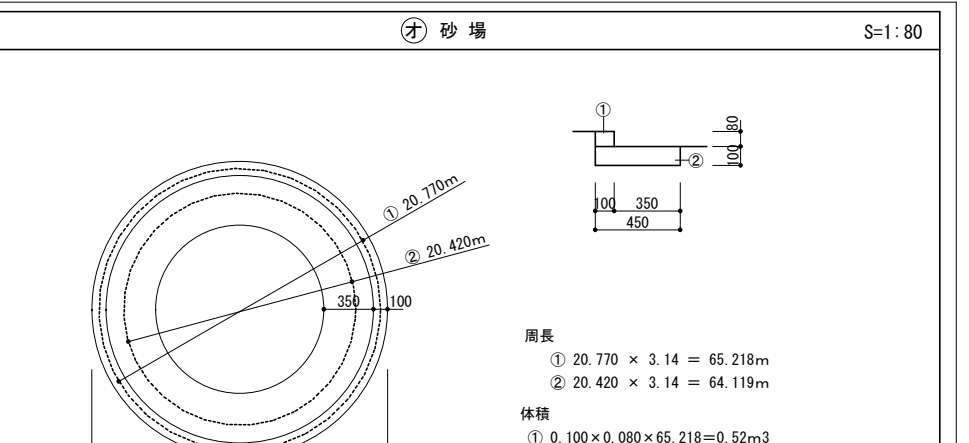
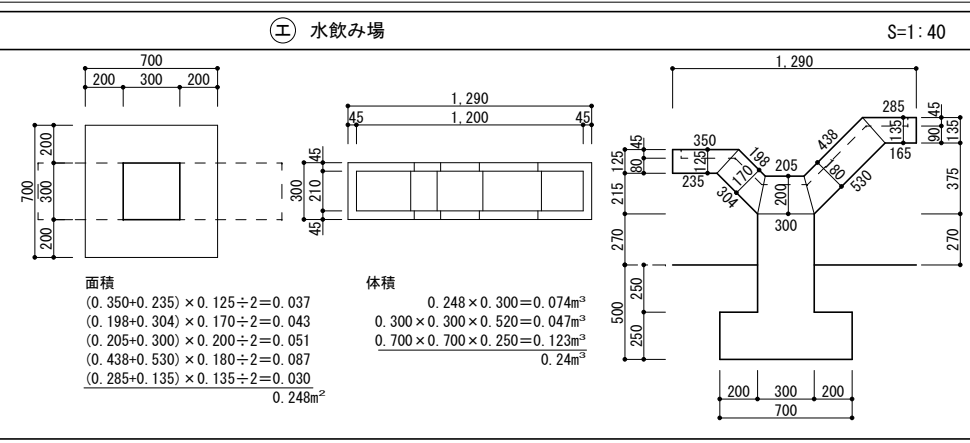
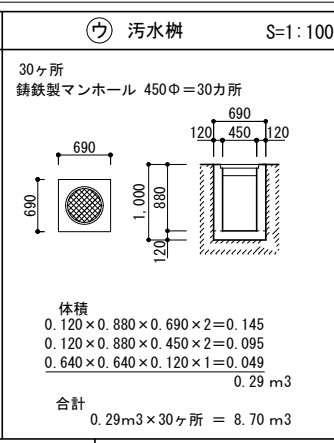
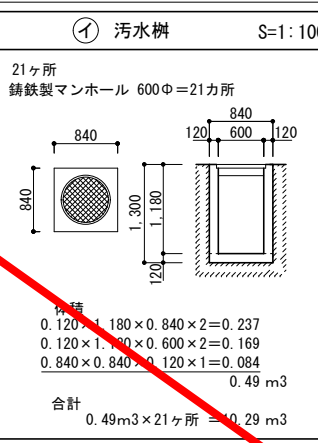
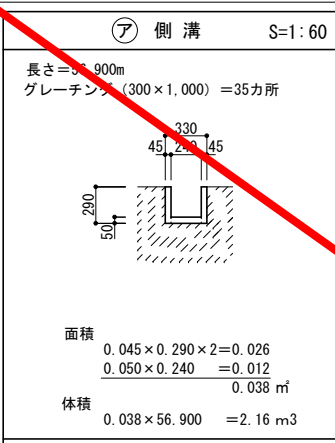
1号棟	(01)	33.890 × 2.000 = 67.780 m ²	94.47 m ²
2号棟	(02)	1.400 × 2.280 × 4 = 12.768 m ²	(11.33 m ³)
土間	(05)	11.600 × 0.600 × 2 = 13.920 m ²	
3号棟	(06)	34.750 × 2.000 = 69.500 m ²	140.46 m ²
4号棟	(07)	1.400 × 2.250 × 4 = 12.600 m ²	(16.85 m ³)
土間	(08)	2.000 × 22.220 = 44.440 m ²	
5号棟	(09)	11.600 × 0.600 × 2 = 13.920 m ²	
5号棟	(02)	1.400 × 2.280 × 4 = 12.768 m ²	94.43 m ²
6号棟	(03)	33.870 × 2.000 = 67.740 m ²	(11.33 m ³)
土間	(18)	11.600 × 0.600 × 2 = 13.920 m ²	
7号棟	(08)	34.900 × 2.000 = 69.800 m ²	
8号棟	(09)	1.400 × 2.290 × 4 = 12.824 m ²	141.14 m ²
土間	(10)	2.000 × 22.300 = 44.600 m ²	(16.93 m ³)
9号棟	(02)	11.600 × 0.600 × 2 = 13.920 m ²	
10号棟	(04)	1.400 × 2.280 × 4 = 12.768 m ²	94.39 m ²
土間	(18)	33.850 × 2.000 = 67.700 m ²	(11.32 m ³)
11号棟	(11)	11.600 × 0.600 × 2 = 13.920 m ²	
12号棟	(12)	37.100 × 2.000 = 74.200 m ²	143.04 m ²
土間	(13)	1.400 × 1.950 × 4 = 10.920 m ²	(17.16 m ³)
13号棟	(18)	2.000 × 22.000 = 44.000 m ²	
14号棟	(14)	11.600 × 0.600 × 2 = 13.920 m ²	
15号棟	(15)	1.400 × 5.530 = 7.742 m ²	22.51 m ²
土間	(18)	1.400 × 5.580 = 7.812 m ²	(2.70 m ³)
16号棟	(16)	11.600 × 0.600 = 6.960 m ²	
17号棟	(17)	1.400 × 1.950 × 4 = 10.920 m ²	112.98 m ²
土間	(18)	2.000 × 12.000 = 24.000 m ²	(13.55 m ³)
解体 合計		843.42 m ²	(101.21 m ³)



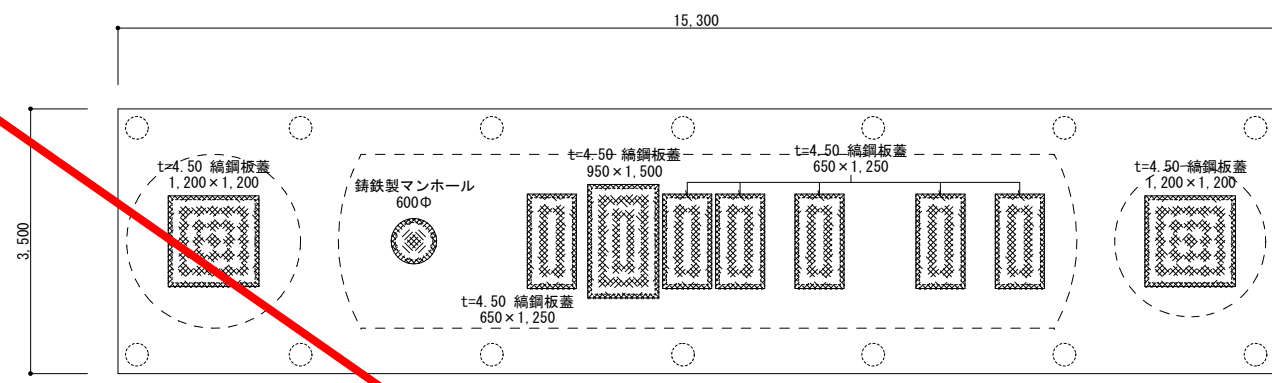
埋設汚水管 (VP200) 撤去数量

1号・2号棟	3.10 + 3.00 + 11.30 + 2.90 = 32.50 m
埋設管	2.80 + 9.40 = 36.20 m
3号・4号棟	8.50 + 4.50 + 3.00 + 2.80 = 29.50 m
埋設管	11.10 + 3.30 + 3.00 = 40.20 m
5号・6号棟	3.10 + 11.30 + 3.10 + 2.80 = 32.50 m
埋設管	9.20 = 50.60 m
7号・8号棟	9.90 + 4.30 + 3.20 + 3.20 = 40.20 m
埋設管	13.70 + 3.10 + 2.80 = 32.50 m
9号・10号棟	3.00 + 3.10 + 11.10 + 3.10 = 50.60 m
埋設管	2.70 + 9.50 = 9.50 m
11号・12号棟	3.20 + 3.00 + 6.10 + 6.30 = 50.60 m
埋設管	3.00 + 3.10 + 9.30 + 10.90 = 9.50 m
13号棟	3.00 + 3.00 + 3.50 = 36.90 m
埋設管	3.10 + 2.90 + 6.50 + 6.50 = 267.90 m
14号・15号棟	3.10 + 2.90 + 8.60 + 3.30 = 267.90 m
埋設管	
合計	

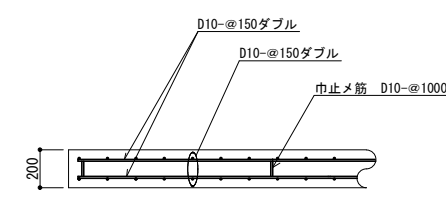
工事名称	大富団地解体工事 (建築)	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	外構詳細図 (1)
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:600
摘要		図面番号	A-013
検印	管理建築士	設計	製図
	設計	製図	
設計者	名称	衛新設計事務所	
	資格者氏名	代表者 朝比野 一郎	
	登録番号	一級建築士 第11462号	
	所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-3	



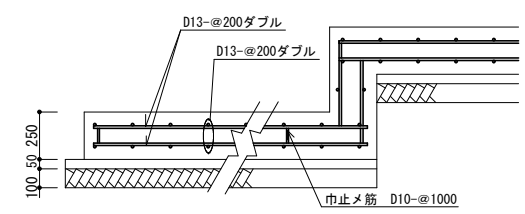
工事名称	大富団地解体工事(建築)	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町南風見仲地内	図面名称	外構詳細図(2)
発注機関	竹富町まちづくり課	縮	図面参照
摘要		図面番号	A-014
検印	管理建築士	設計	製図
	資格者氏名	代表者	新井 一郎
	登録番号	一級建築士	第14962号
	所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-22	



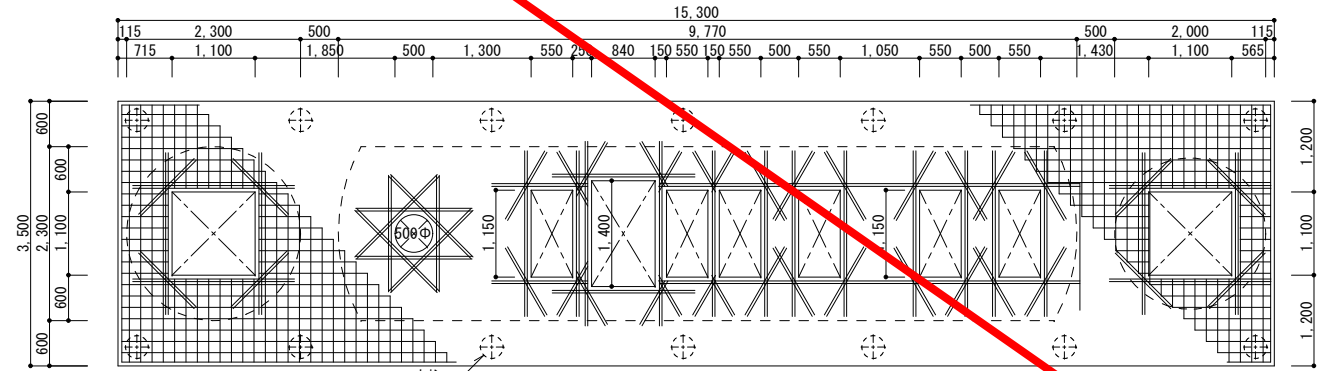
浄化槽平面図 A1 1:50
A3 1:100



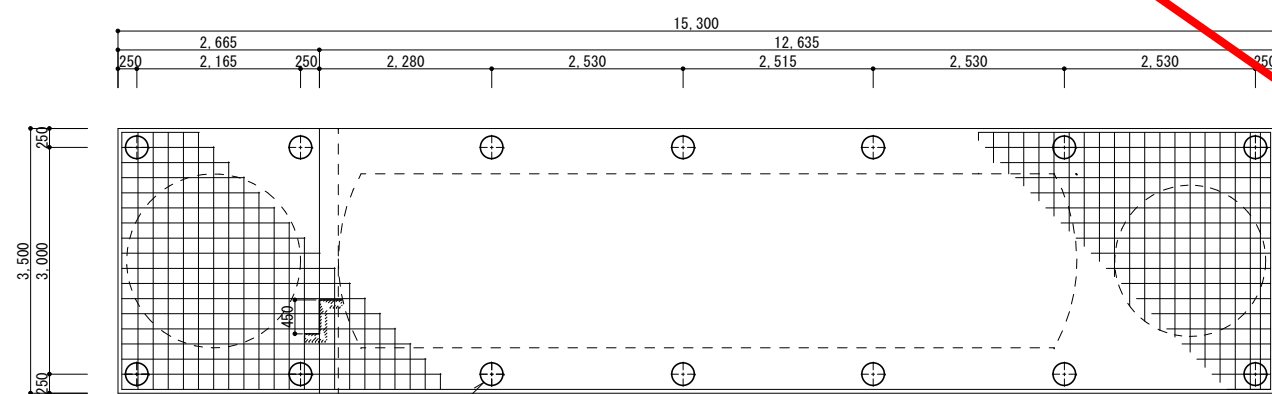
スラブ詳細図 A1 1:20
A3 1:40



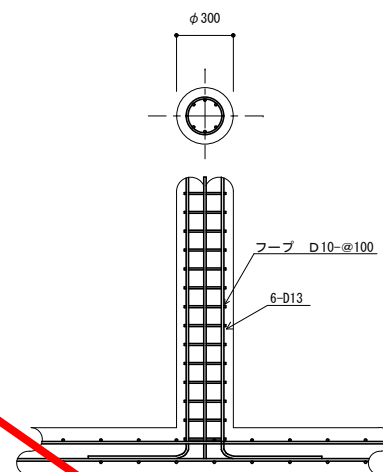
底板詳細図 A1 1:20
A3 1:40



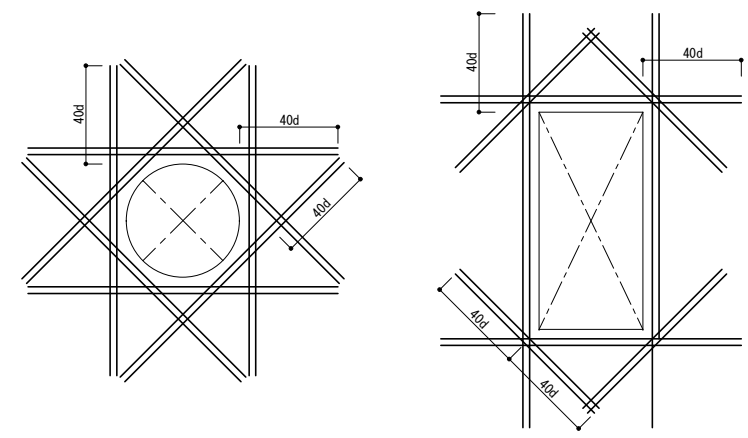
浄化槽スラブ平面図 A1 1:50
A3 1:100



浄化槽底板平面図 A1 1:50
A3 1:100

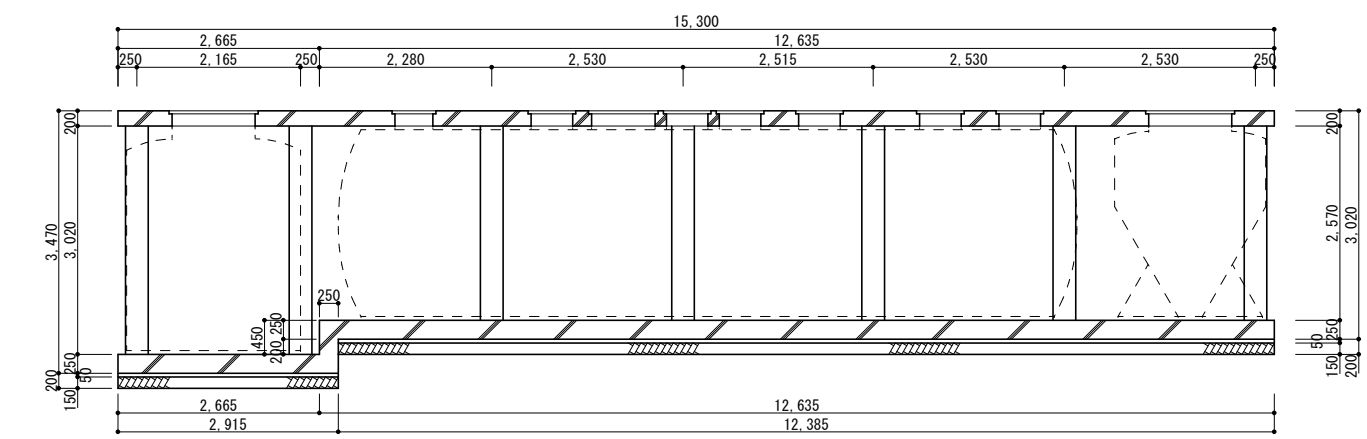


支柱詳細図 A1 1:20
A3 1:40



開口補強筋は全て2-D13

開口補強詳細図 A1 1:20
A3 1:40

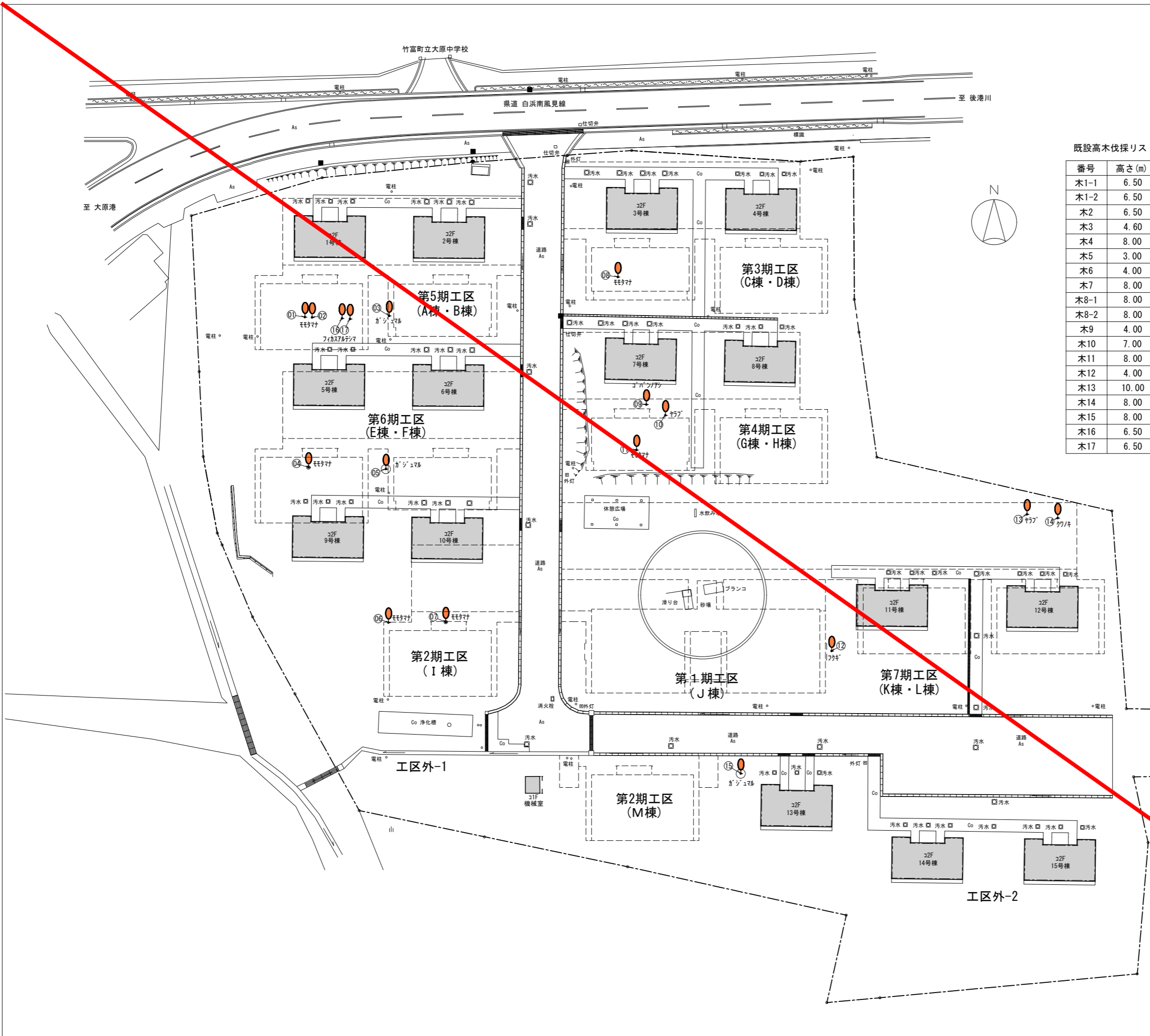


長辺方向断面図 A1 1:50
A3 1:100

一般事項		型式	琉設浄化槽 RSR-120C型
捨てコンクリート強度	16N/mm ² スラブ15	処理対象人数	120人
有筋コンクリート強度	21N/mm ² スラブ18	計画汚水量	24,000m ³ /日
鉄筋	SD295A	流入汚水水質	流入BOD200mg/
鉄筋かぶり	スラブ40 底板60	放流水質	放流BOD 20mg/
定着及継手	40 d : 鉄筋径	排水時間	10時間

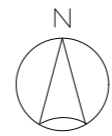
体積	
スラブ	15.300 × 3.500 × 0.200 = 10.71m ³
開口部	1.100 × 1.100 × 0.200 = 0.242 0.250 × 0.250 × 3.14 × 0.200 = 0.039 0.550 × 1.150 × 0.200 = 0.126 0.840 × 1.400 × 0.200 = 0.235 0.550 × 1.150 × 0.200 = 0.126 0.550 × 1.150 × 0.200 = 0.126 0.550 × 1.150 × 0.200 = 0.126 0.550 × 1.150 × 0.200 = 0.126 0.550 × 1.150 × 0.200 = 0.126 1.100 × 1.100 × 0.200 = 0.242 1.51m ³
柱	0.150 × 0.150 × 3.14 × 3.020 = 0.21m ³ 0.150 × 0.150 × 3.14 × 2.570 = 0.18m ³ 0.21m ³ × 4 + 0.18m ³ × 10 = 2.64m ³
底板	2.915 × 3.500 × 0.250 = 2.55m ³ 12.635 × 3.500 × 0.250 = 11.05m ³ 0.250 × 3.500 × 0.200 = 0.17m ³ 13.77m ³
合計	スラブ 9.20 柱 2.64 底板 13.77 25.61m ³
合計	10.71 - 1.51 = 9.20m ³

工事名称	大富団地解体工事 (建築)	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町宇南風見仲地内	図面名称	既設浄化槽図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100・40
摘要		図面番号	A - 015
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(有)朝映設計事務所	
	資格者氏名	代表者	朝映 一郎
	登録番号	一級建築士	第114912号
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		

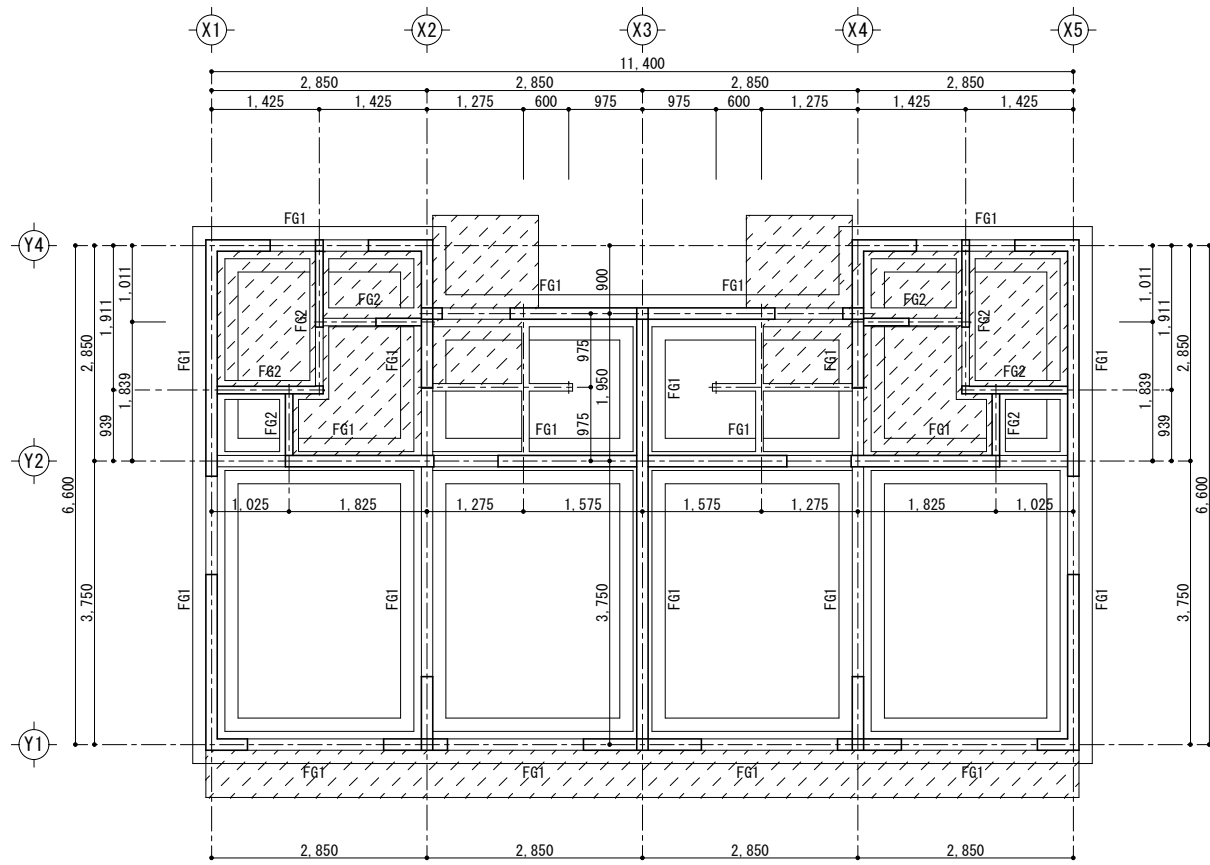


既設高木伐採リスト

番号	高さ (m)	幹周り (cm)	種類	枝ぶり (m)
木1-1	6.50	80.00	モモタマナ	2.60
木1-2	6.50	70.00	モモタマナ	2.60
木2	6.50	80.00	モモタマナ	6.50
木3	4.60	425.00	ガジュマル	5.00
木4	8.00	233.00	モモタマナ	20.00
木5	3.00	300.00	ガジュマル	6.00
木6	4.00	54.00	モモタマナ	6.00
木7	8.00	150.00	モモタマナ	16.00
木8-1	8.00	178.00	モモタマナ	6.50
木8-2	8.00	125.00	モモタマナ	6.50
木9	4.00	70.00	ゴバンノアシ	3.00
木10	7.00	88.00	ヤラブ	4.00
木11	8.00	90.00	モモタマナ	9.00
木12	4.00	4.00×2	フクギ	3.00
木13	10.00	160.00	ヤラブ	10.00
木14	8.00	100.00	クワノキ	10.00
木15	8.00	300.00	ガジュマル	8.50
木16	6.50	75.00	フィカスアルテシマ	6.50
木17	6.50	80.00	フィカスアルテシマ	6.50

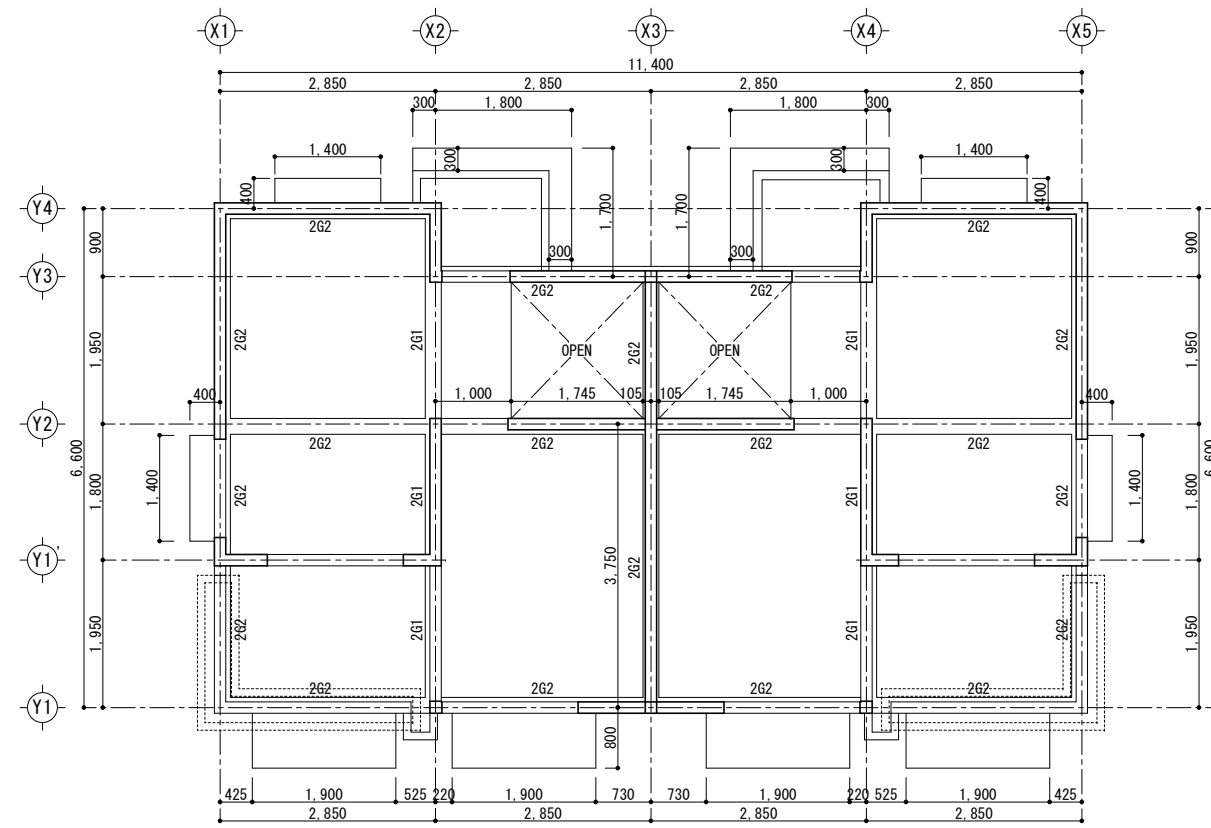


工事名称	大富団地解体工事 (建築)	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町南風見仲地内	図面名称	既設高木伐採リスト図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:600
摘要		図面番号	A - 016
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	南風見設計事務所	
	資格者氏名	代表者	朝野 一郎
	登録番号	一級建築士	第171462号
	所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-12	

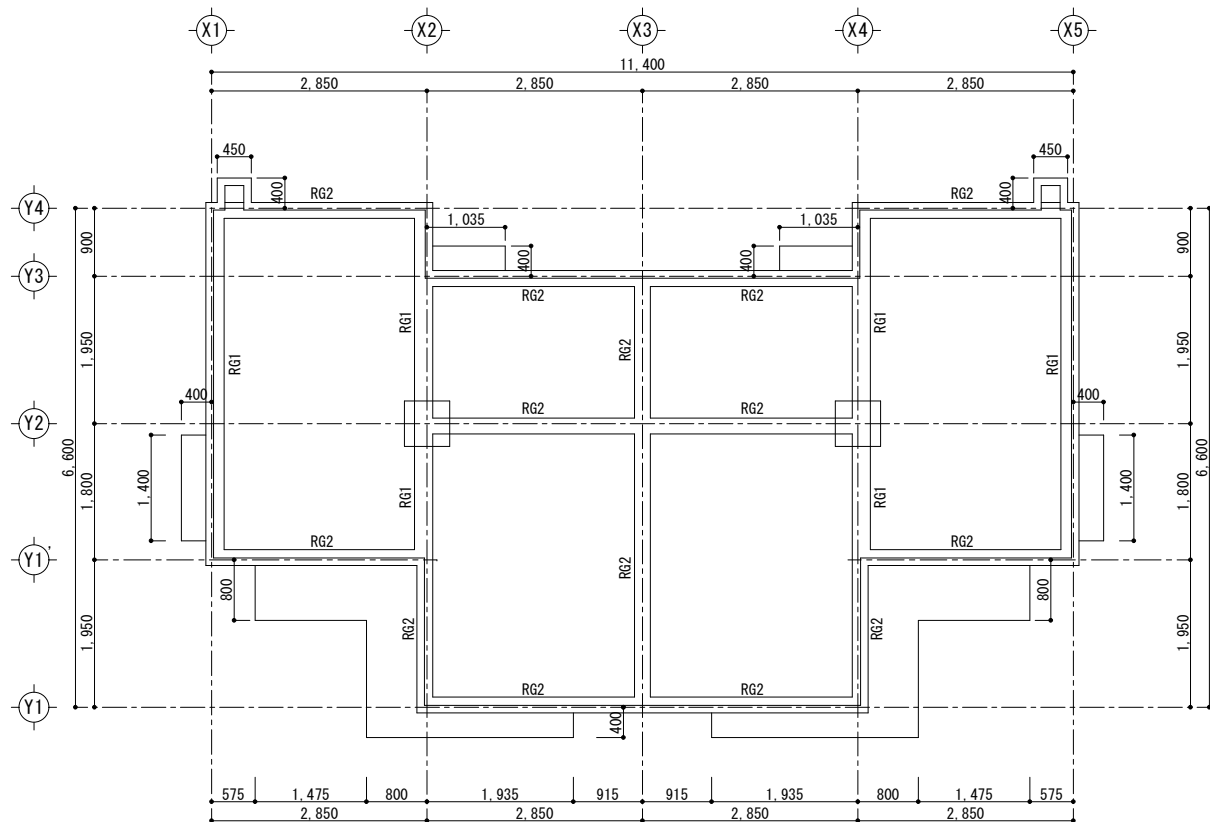


基礎伏図 S=1:100

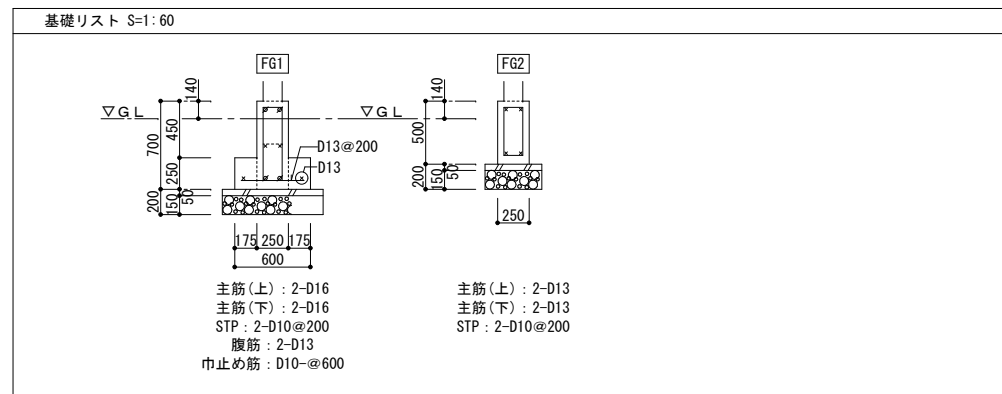
部分は土間コン、t=100 配筋：D10@200を示す。



2階梁伏図 S=1:100



R階梁伏図 S=1:100

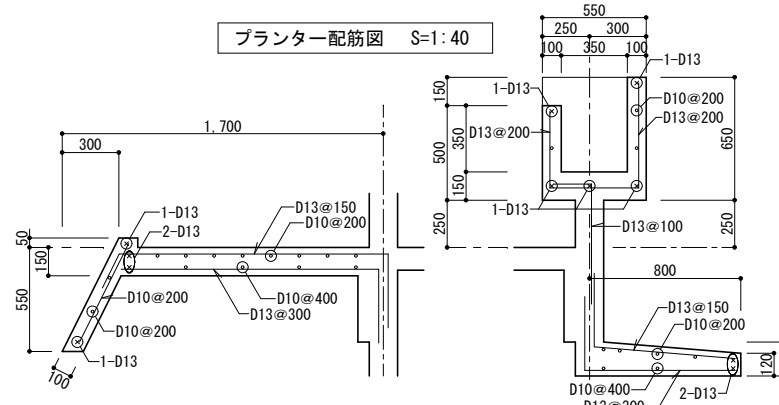


主筋(上)：2-D16
主筋(下)：2-D16
STP：2-D10@200
腹筋：2-D13
巾止め筋：D10@600

主筋(上)：2-D13
主筋(下)：2-D13
STP：2-D10@200

符号	2 G 1	2 G 2	RG 1	RG 2
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
BxD	210 × 500	210 × 500	240 × 500	210 × 500
上端筋	4-D19	2-D19	2-D19	2-D19
下端筋	3-D19	2-D19	2-D19	2-D19
STP	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200
腹筋				

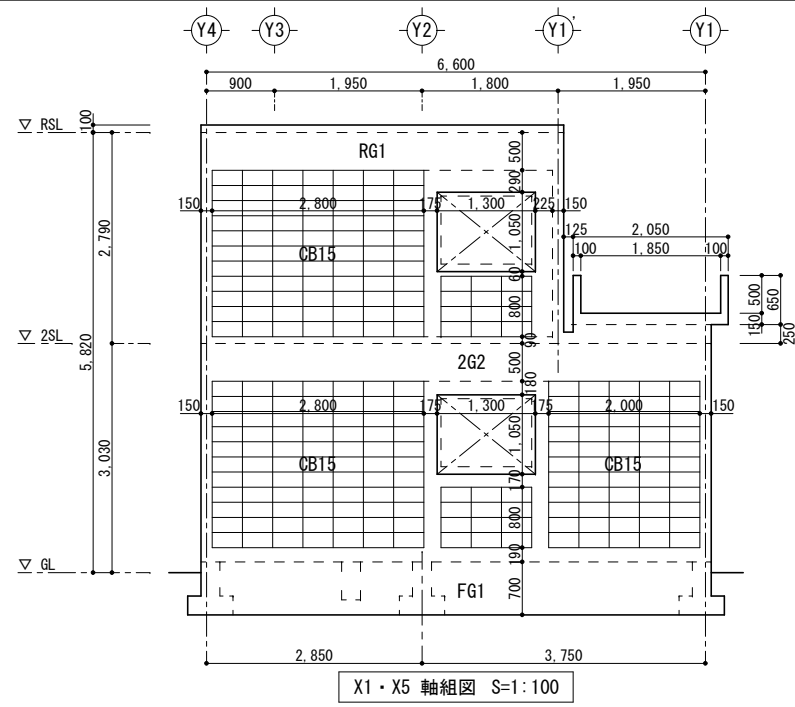
符号	CB15・CB10	壁の交差部 及び端部の配筋
断面		
壁厚	φ150 (ブロック)	
タテ筋	D10@400(S)	1階部：1-D16 2階部：1-D13
ヨコ筋	D10@400(S)	
開口補強筋	タテ筋：2-D13 ヨコ筋：2-D13 斜メ筋	



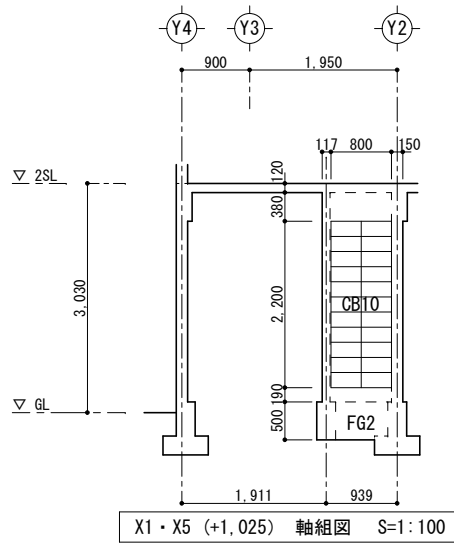
玄関庇配筋図 S=1:40

庇配筋図 S=1:40

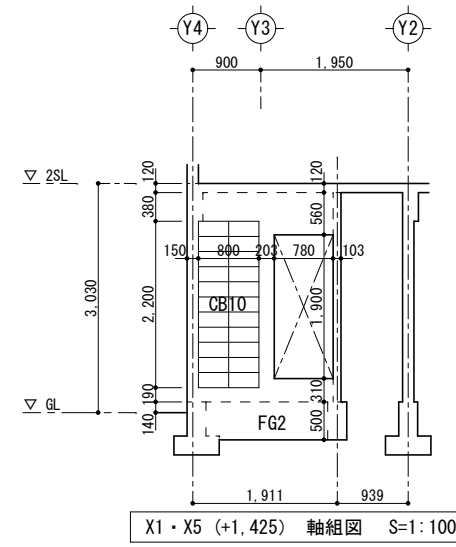
工事名称	大富団地解体工事 (建築)	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	床伏図・部材リスト・配筋図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100
摘要		図面番号	S - 017
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	南朝吹設計事務所	
	資格者氏名	代表者	朝吹 一郎
	登録番号	一級建築士	第114962号
所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32		



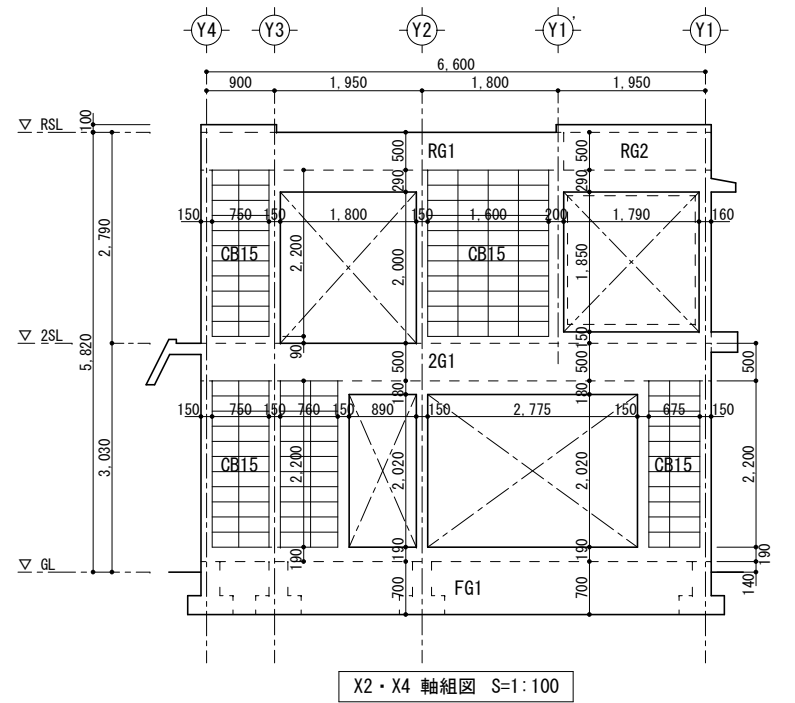
X1・X5 軸組図 S=1:100



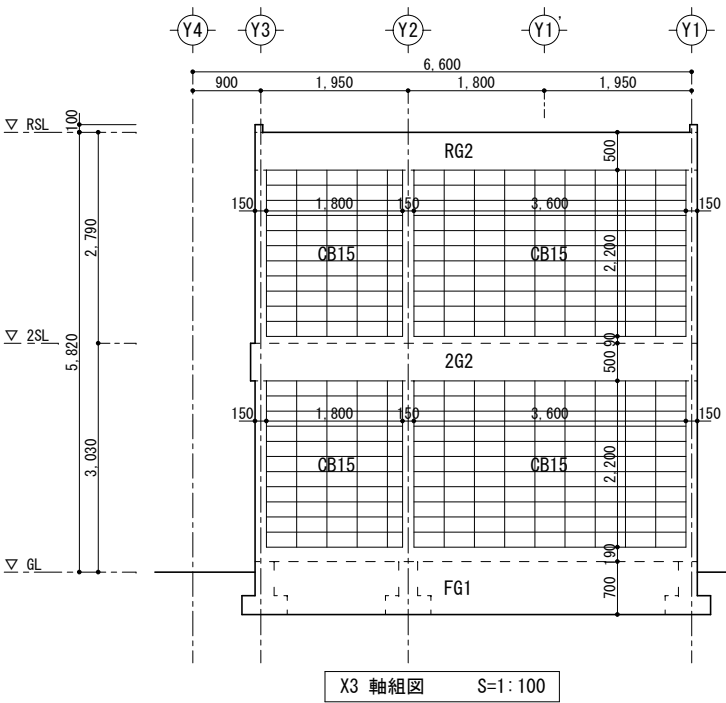
X1・X5 (+1,025) 軸組図 S=1:100



X1・X5 (+1,425) 軸組図 S=1:100

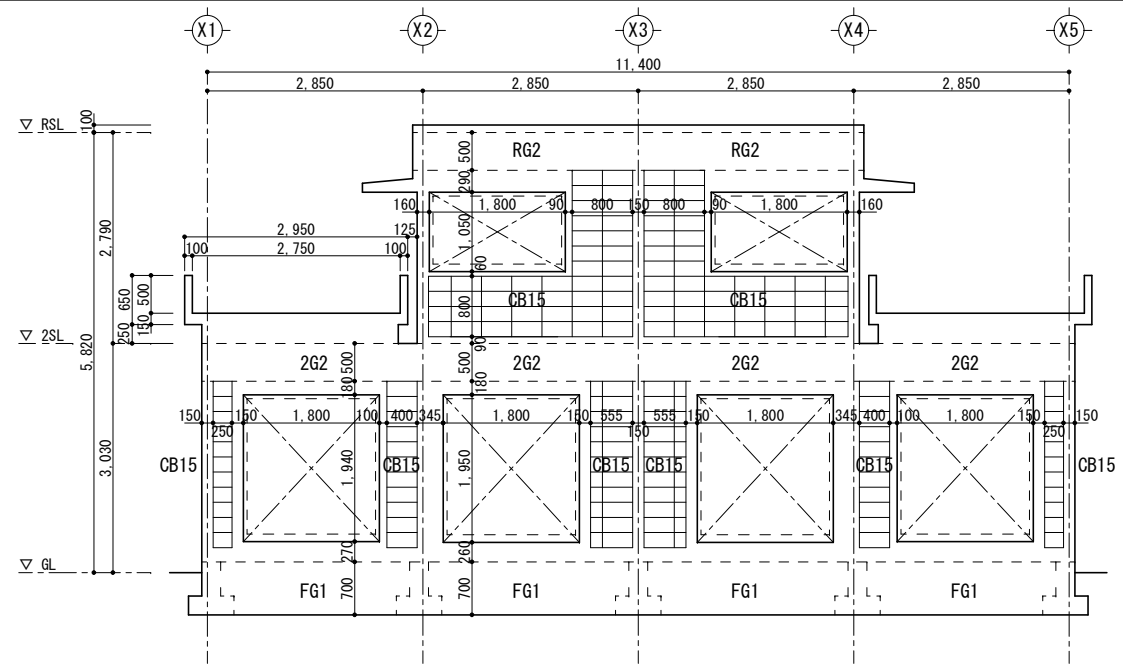


X2・X4 軸組図 S=1:100

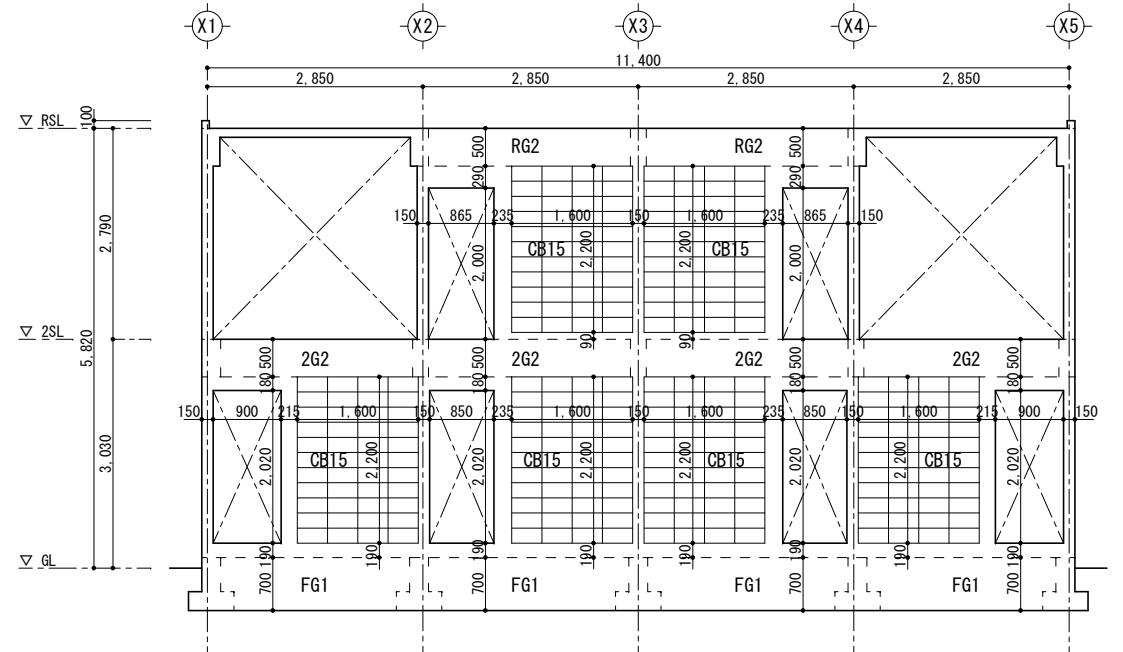


X3 軸組図 S=1:100

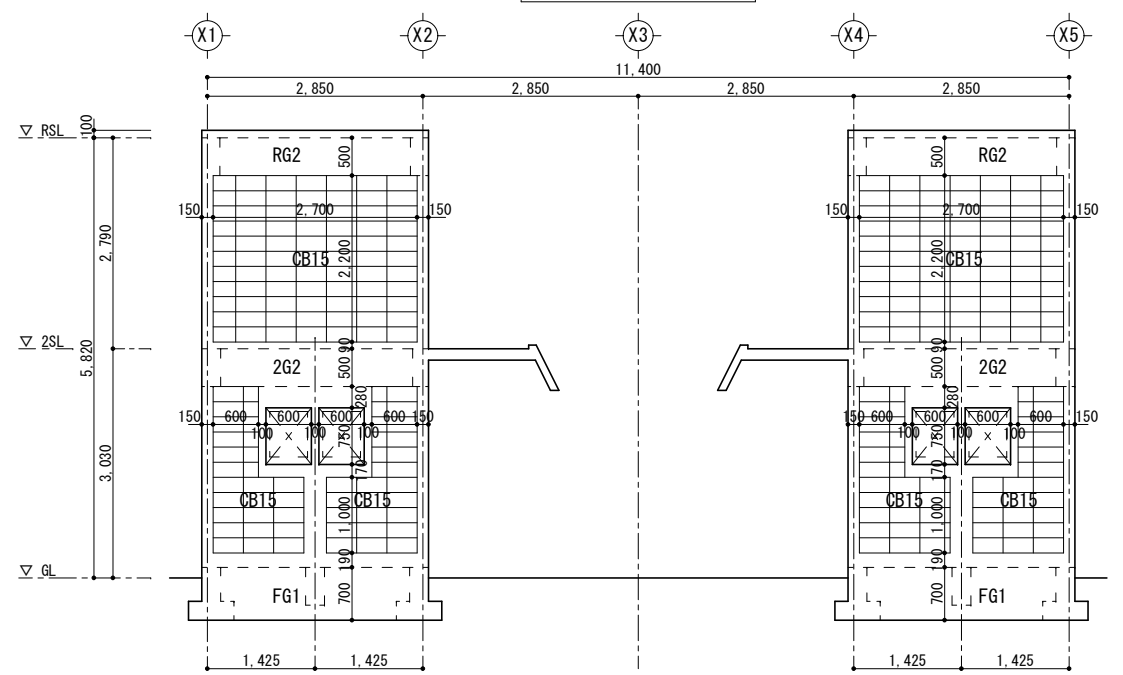
工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和7年度	
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	軸組図1	
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:100	
摘要		図面番号	S - 018	
検印	管理建築士	設計製図	名称	南朝吹設計事務所
			資格者氏名	代表者 朝吹 一郎
			登録番号	一級建築士 第114962号
			所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32



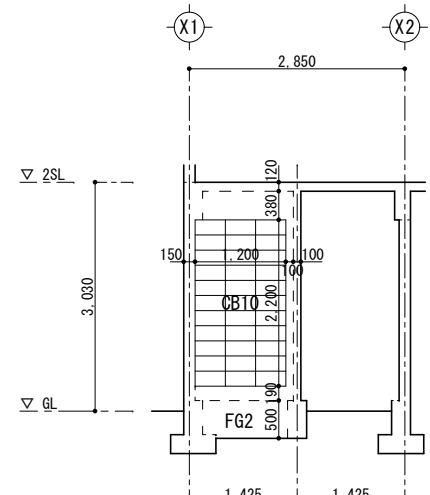
Y1 軸組図 S=1:100



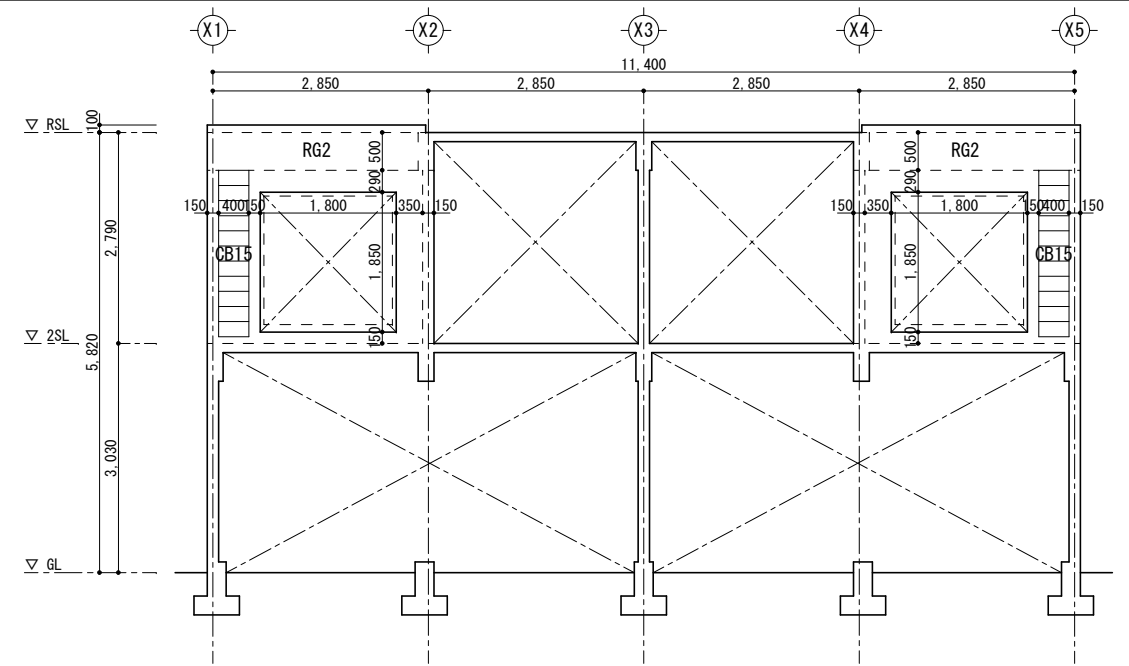
Y2 軸組図 S=1:100



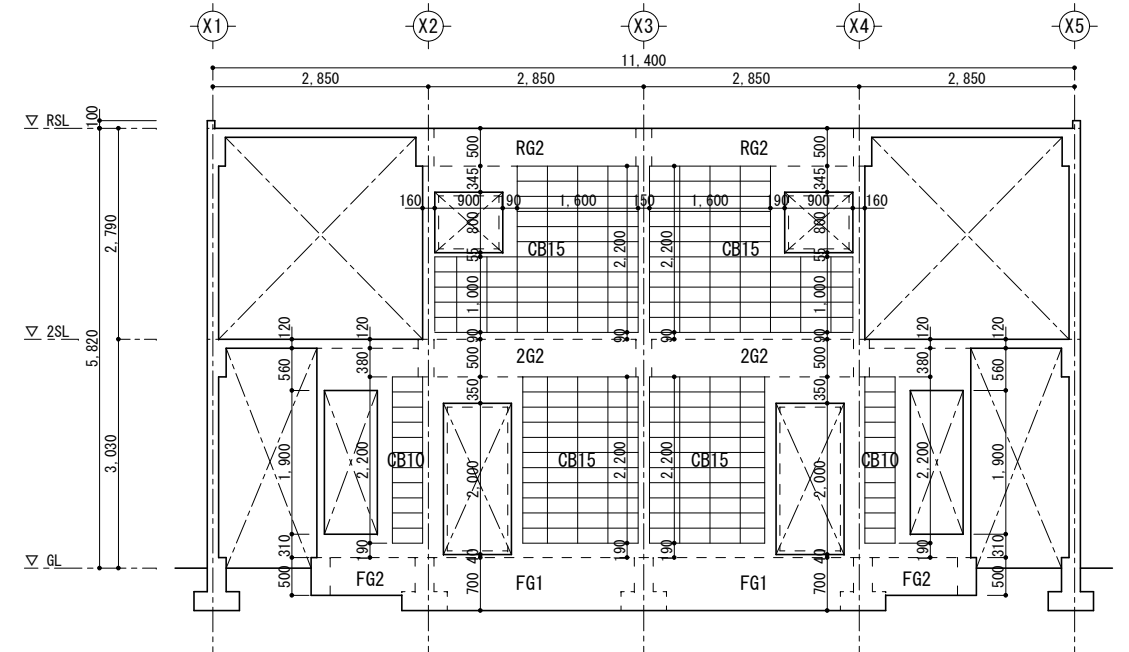
Y4 軸組図 S=1:100



Y2 (+939) 軸組図 S=1:100

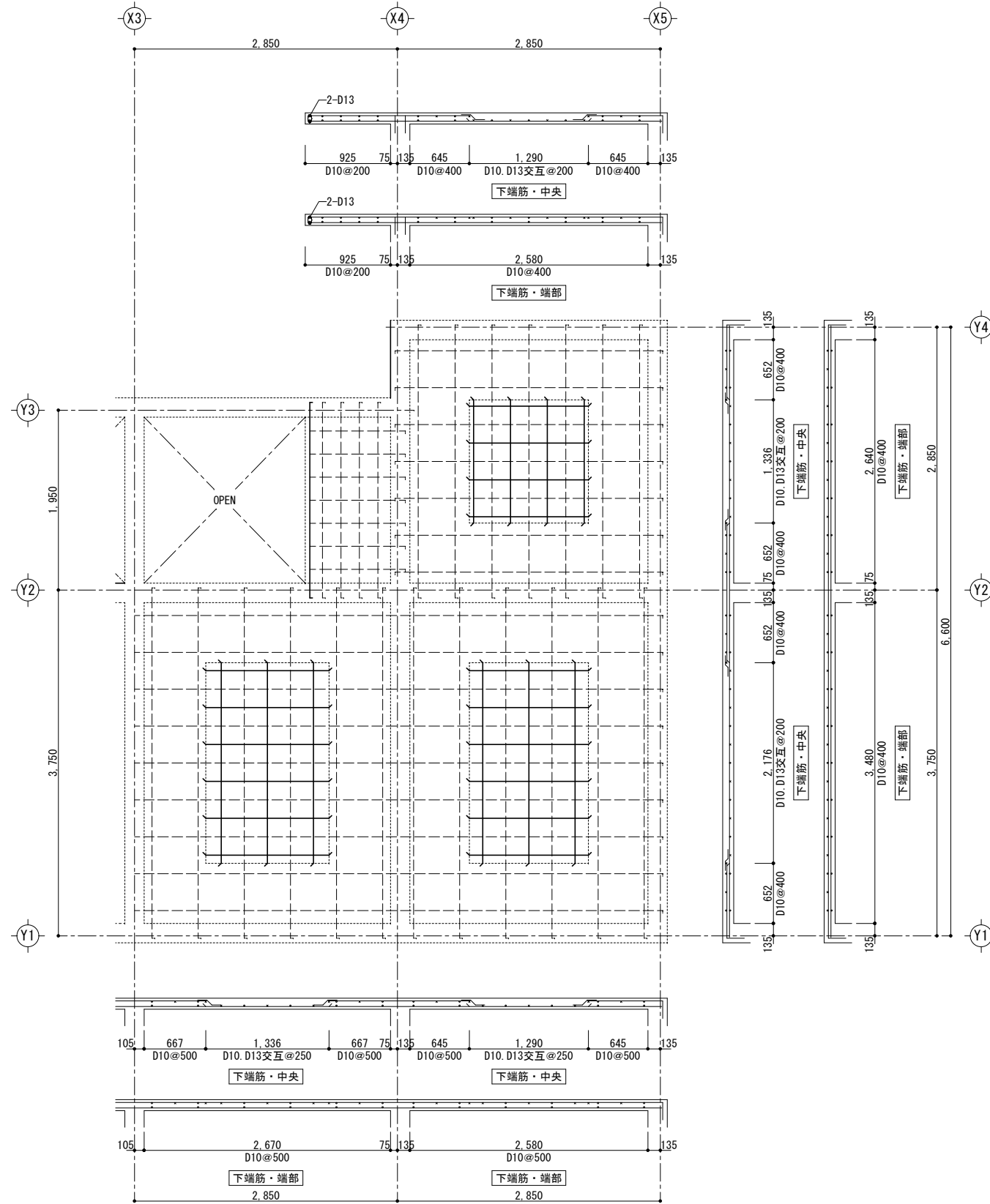


Y1 軸組図 S=1:100

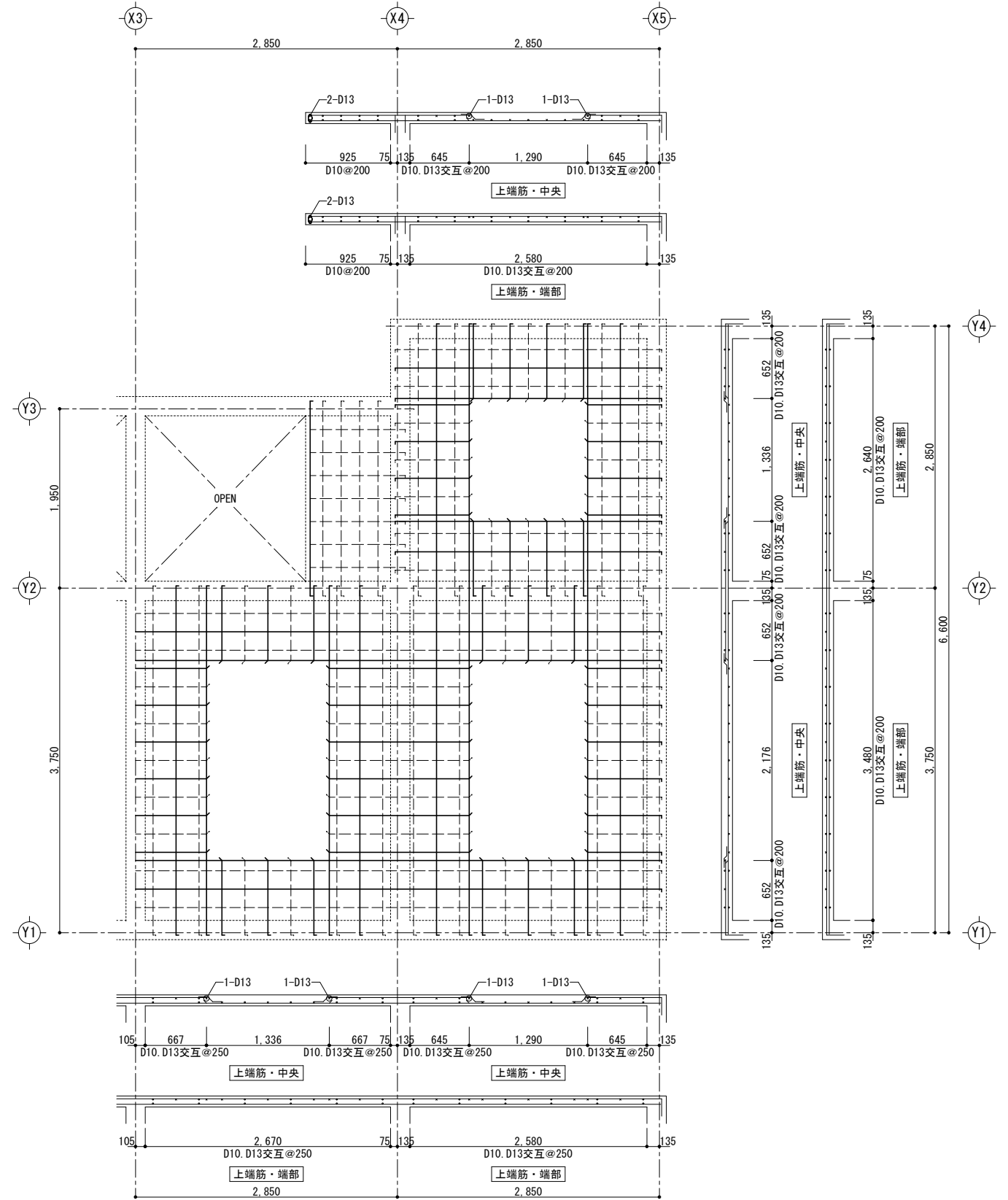


Y3 軸組図 S=1:100

工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和 7 年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	軸組図 2
発注機関	竹富町まちづくり課	縮 尺	S=1:100
摘 要		図面番号	S - 019
検 印	管理建築士	設 計	製 図
		名 称	南朝吹設計事務所
		資格者氏名	代表者 朝吹 一郎
		登録番号	一級建築士 第114962号
		所 在 地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32

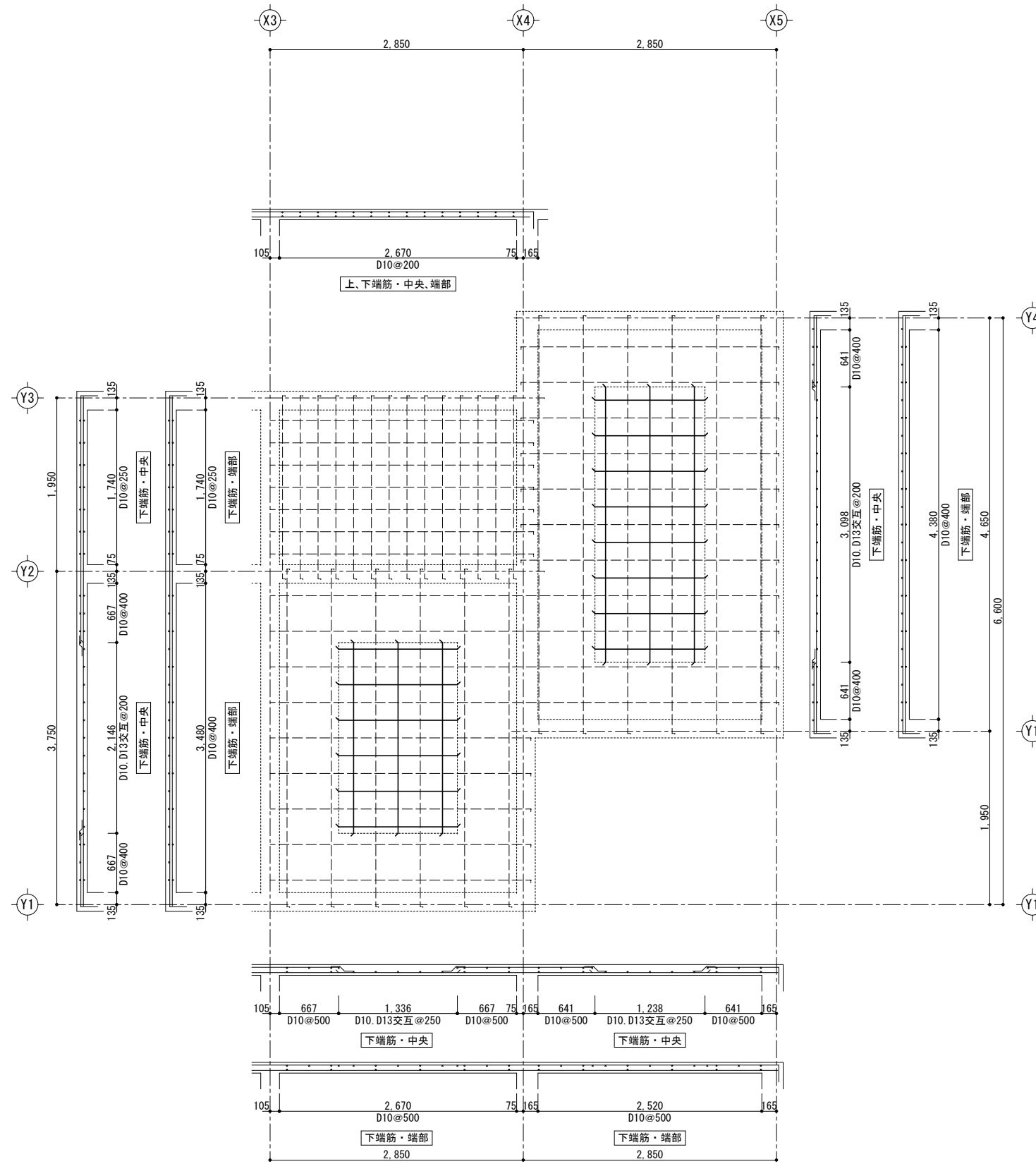


2階スラブ：下端筋配筋図 S=1:60

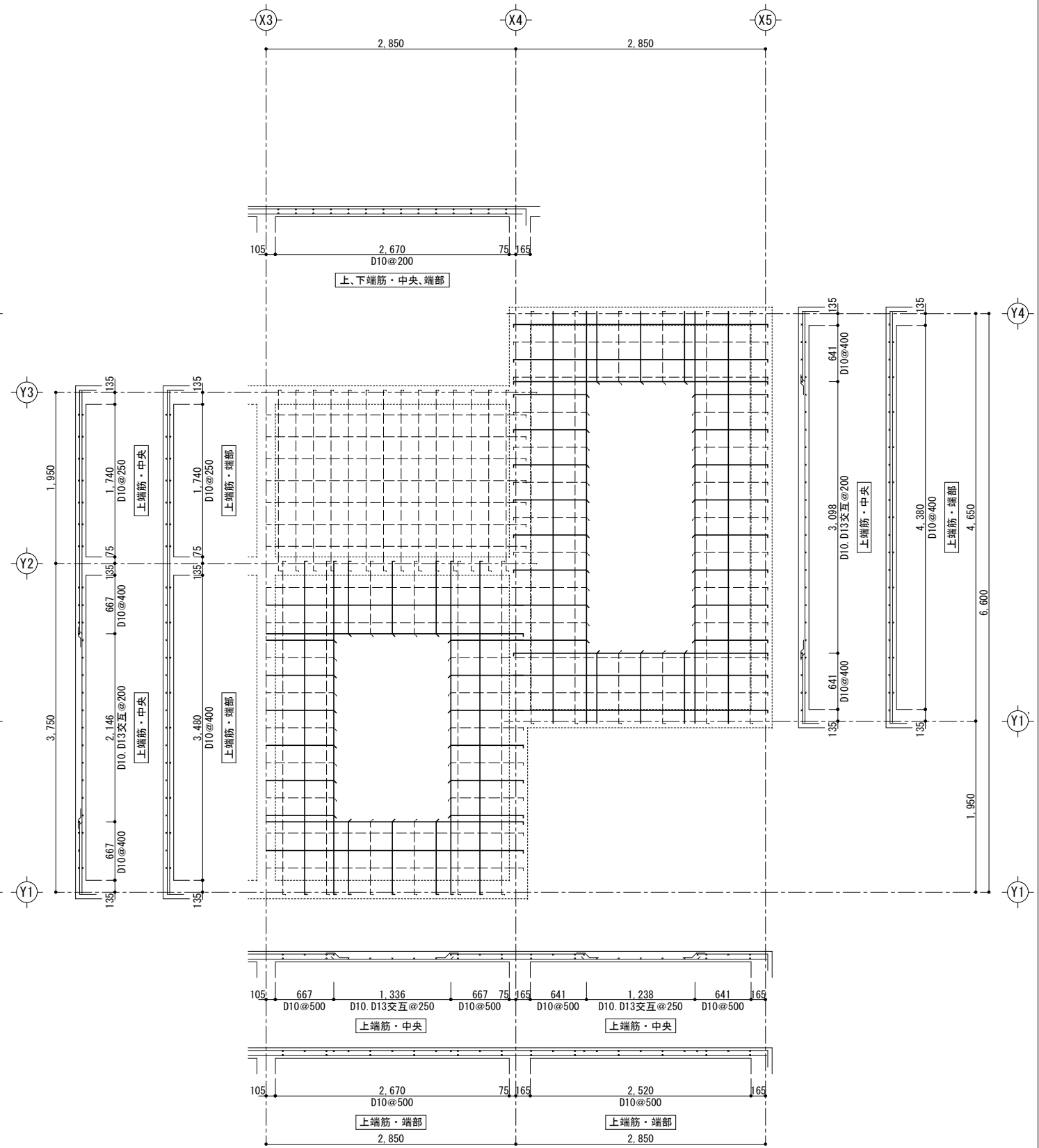


2階スラブ：下端筋配筋図 S=1:60

工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和7年度	
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	2階スラブ配筋図	
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:60	
摘要		図面番号	S - 020	
検印	管理建築士	設計製図	名称	南朝吹設計事務所
	設計		資格者氏名	代表者 朝吹 一郎
	製図		登録番号	一級建築士 第114962号
			所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32

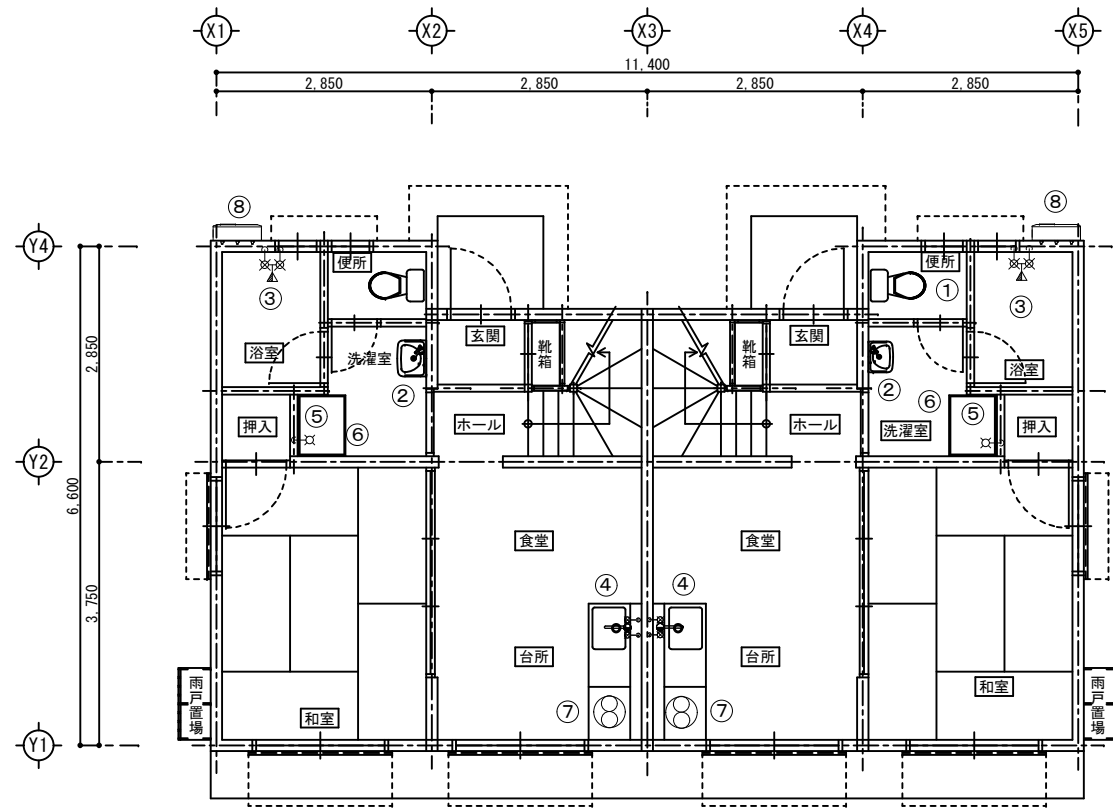


R階スラブ：下端筋配筋図 S=1:60

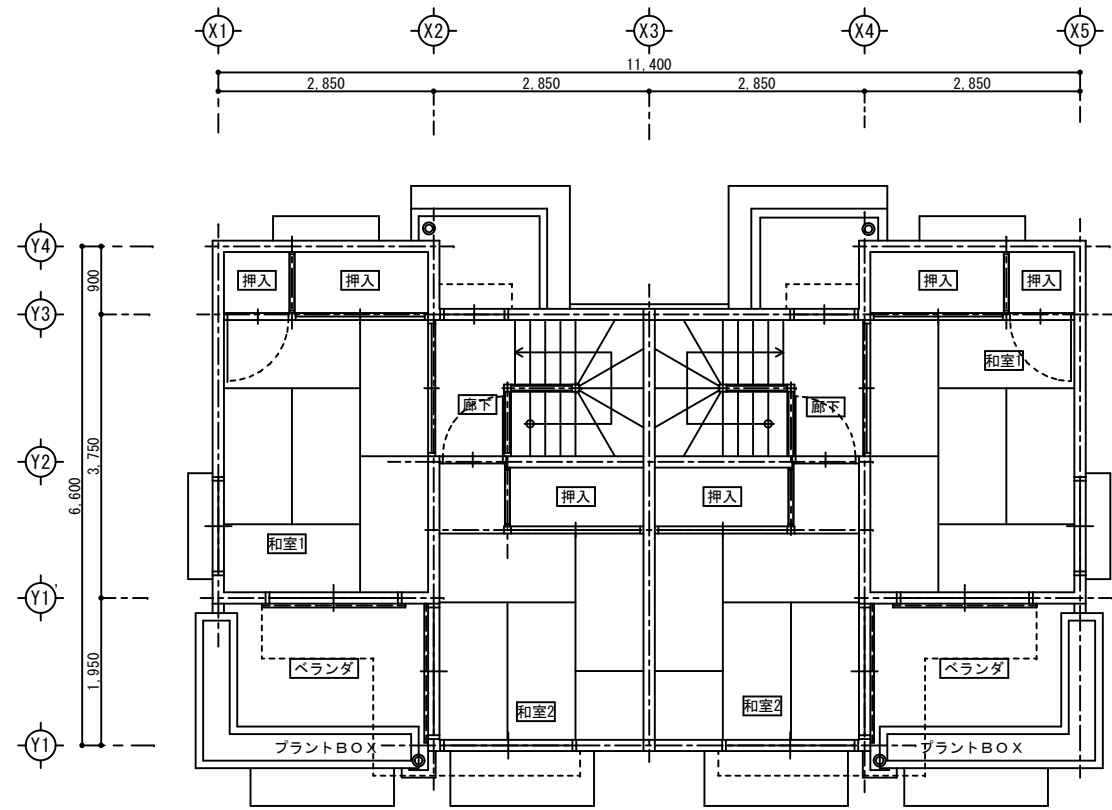


R階スラブ：下端筋配筋図 S=1:60

工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和7年度	
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	R階スラブ配筋図	
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:60	
摘要		図面番号	S - 021	
検印	管理建築士	設計製図	名称	南朝吹設計事務所
	設計		資格者氏名	代表者 朝吹 一郎
	製図		登録番号	一級建築士 第114962号
	印		所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32



1階平面図 S=1:50



2階平面図 S=1:50

拾い表

記号	品名	再使無
①	洋風大便器 ロタンク式	2
②	洗面器	2
③	シャワーセット	2
④	混合水栓	2
⑤	横水栓	2
⑥	洗濯機パン	2
⑦	換気扇	2
⑧	ガス湯沸器	2

工事名称	大富団地解体工事（建築）	工事年度	令和7年度
工事場所	竹富町字南風見仲地内	図面名称	給排水設備平面図
発注機関	竹富町まちづくり課	縮尺	S=1:50
摘要		図面番号	KM - 2
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	南朝吹設計事務所	
	資格者氏名	代表者 朝吹 一郎	
	登録番号	一級建築士 第114962号	
	所在地	沖縄県石垣市浜崎町2-3-32	